

東葛テクノプラザ空調熱源設備改修工事

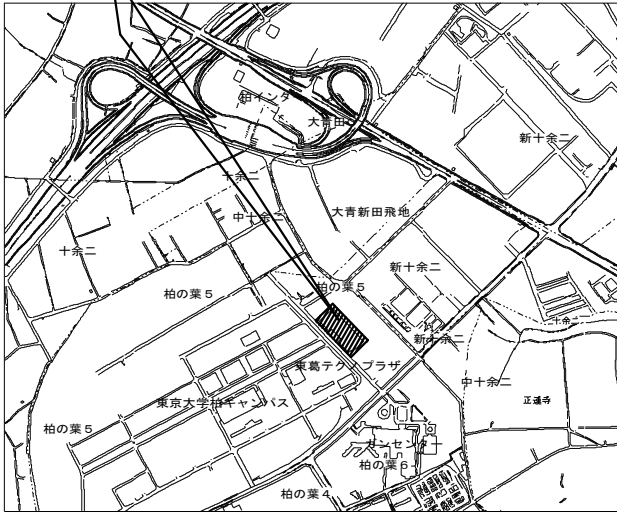
図番	図面名称		縮尺（A1）	縮尺（A3）
M-01	機械設備	工事特記仕様書（１）	NON	NON
M-02	機械設備	工事特記仕様書（２）	NON	NON
M-03	機械設備	工事特記仕様書（３）	NON	NON
M-04		案内図、配置図、凡例	1/300	1/600
M-05	空調設備	機器表（改修、撤去）	NON	NON
M-06	空調設備	配管フロー図・制御図	NON	NON
M-07	空調設備	R階平面図	1/100	1/200
M-08	空調設備	R階詳細図(1)（改修）	1/50	1/100
M-09	空調設備	R階詳細図(2)（改修）	1/30	1/60
M-10	空調設備	R階詳細図(1)（撤去）	1/50	1/100
M-11	空調設備	R階詳細図(2)（撤去）	1/30	1/60
M-12		コンクリート基礎図（参考図）	1/30	1/60
M-13	仮設計画図	R階平面図（参考図）	1/100	1/200
M-14	仮設計画図	配置図（参考図）	1/250	1/500
E-01	電気設備	工事特記仕様書（１）	NON	NON
E-02	電気設備	工事特記仕様書（２）	NON	NON
E-03		受変電設備 単線結線図（改修前・改修後）	NON	NON
E-04		動力制御盤 単線結線図（改修前・改修後）	NON	NON
E-05		動力設備 R階 平面図（改修後）	1/100	1/200
E-06		動力設備 R階 平面図（改修前）	1/100	1/200

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目	特 記 事 項		章 項 目	特 記 事 項																																											
○設計用温度 ●銅板製煙道 ○ダクト ●風量測定口 ○チャンパー ○ダンパー ●配管材料 銅和 ●井類 設備 ●温度計 ●圧力計 ●瞬間流量計 ○油面制御装置 ○絶縁継手 ○保温及び消管内貼り	○下表による。 ○（ ）の温度条件による。 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="8">屋 内（調 整 目 標）</th></tr><tr><th colspan="2">外 気</th><th colspan="2">一般系統</th><th colspan="2">湿度</th><th colspan="2">湿度</th><th colspan="2">湿度</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr></thead><tbody><tr><td>夏 期</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td><td>℃ %</td></tr></tbody></table> 伸縮継手、掃除口及びばいじん測定口の位置は図示による。 銅板厚（ ☐ 3.2mm ☒ 4.5mm ☐ 図示） ☐ 低圧ダクト（ ☐ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ☐ アングルフランジ工法 ☐ スパイラルダクト）とする。 ☐ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ☐ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 取り付け箇所は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示方法は外述を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタナチャンパー及びダクト系で消管内貼りしたチャンパーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防煙ダンパー 復帰方式(☐ 遠隔 ☐) 定格入力はD024V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式(☐ 遠隔) (1) 冷温水管 ●水道用亜鉛メッキ鋼管（SGP-W） (2) 冷却水管 ●配管用炭素鋼鋼管（SGP-白） (3) 油 管 (4) 蒸 気 管 給気管 還 管 (5) 高温水管 (6) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 (7) ドレン管 ●配管用炭素鋼鋼管（SGP-白） (8) 冷煤管 JIS又はJV（ ☒ 5K ☐ 10K(図示部分)） ●65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバクフライとする。 ●銅管用伸縮継手の種類は図示による。 ●ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ●ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。 ●ファンコイルユニットには、 ☐ 流量調整弁 ☐ 定流量弁 を設置する。 取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 取付け箇所は図示による。 なお、瞬間流量計（ ☒ 固定型 ☐ 着脱型）はビト一管方式とし、止水コック付とする。 制御壁には、（ ☐ 給油ポンプ制御 ☐ 満油警報 ☐ 過満警報 ☐ 漏えい検知警報 ☐ 返油ポンプ制御 ☐ 減油警報 の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御壁間の配管・配線は製造者の標準仕様とする。 図示の位置に取付ける。 ☐ 連りダクトの保温 範囲は（ ☐ 図示による ☐ ） ☐ 外気ダクトの保温 範囲は（ ☐ 図示による ☐ ） ●膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 の温水管の項による。 ●建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.4 温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は、除く。） ●空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編 3.1.5 の排水管の項による。 ●冷煤管の保温外装は別表－2による。			屋 内（調 整 目 標）								外 気		一般系統		湿度		湿度		湿度		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	冬 期	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %
			屋 内（調 整 目 標）																																																
	外 気		一般系統		湿度		湿度		湿度																																										
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																									
	夏 期	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %																																									
	冬 期	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %	℃ %																																									
○ダクト ○風量測定口 ○ダンパー ○排気ダクトのシール ○チャンパー ○保温	○低圧ダクト（ ☐ コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分） ☐ アングルフランジ工法 ☐ スパイラルダクト）とする。 ☐ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ☐ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ●厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。 取付箇所は図示による。 空気調和設備の当該項目による。 ☐ 浴室内シャワー室、脱衣室を含む）系統 ☐ 厨房系統 ☐ 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト N＋Aシール Bシール 円形ダクト A、Bシール Cシール 空気調和設備の当該項目による。 ☐ 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト（ ☐ 保温範囲及び仕様は図示による。 ☐ 全熱交換ユニット用の排気用ダクト（ ☐ 保温範囲及び仕様は図示による。 ○（ ☐ 厨房 ☐ 湯沸器 ☐ ）の暖べいダクト（仕様はh・(f)・(X)とし、範囲は図示による。																																																		
○ダクト ○排煙口の形式 ○排煙口手動開閉装置（開放及び復帰方式） ○排煙重量測定	○亜鉛鉄板 ○普通鋼板（厚1.6mm） ○図示による。 ○ワイヤース ☐ 電気式（遠隔操作 ☐ 要 ☐ 不要） 建築設備定期検査業務基準書（2023年版）（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙重量の検査方法に準ずる。																																																		
●中央監視制御装置 ●システム構成・機能 ●電気計装用配線	●有り（ ☐ 新設 ●既設） ☐ 無し 図示による。 使用する電線及びケーブルは、原則としてEＭ電線又はEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。																																																		
○自動洗浄装置及びその組み込み小便器 ○洗面器 ○標記板 ○自動水洗の電源供給方式 ○衛生器具ユニット ○洋風便器 ○浴室ユニット	洗浄水量は2L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ☐ 個別感知方式（一体型） 制御壁（ ☐ 要 ☐ 不要） 手洗器は止水栓付とする。 ☐ 要 材質（ ☐ ） （ ☐ 大便器 ☐ 小便器） ☐ 不要 ☐ AC電源 ☐ 自己発電 ☐ ユニットの配管材料は、図示による。 タンク式は6、5L/回以下とする。 仕様は別図による。																																																		

○配管材料 ○水栓 ○量水器 ○量水器料 ○絶縁継手 ○井類 ○管の地中埋設深さ ○水栓柱 ○建物導入部配管 ○引込納付金等	(1) 一般配管 (2) 地中埋設配管 (3) 水道直結配管 ☐ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、（ ☐ ）とし、他の部分は(1)による。 ☐ 台所流し用水の水栓は泡沫式とする。 ☐ 水栓性を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （ ☐ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。） ☐ 観メーター（貸与品）（ ☐ 直読式 ☐ バルス式） ☐ 子どもメーター（買い取り）（ ☐ 直読式 ☐ バルス式） ☐ 水道事業者指定品（ ☐ 貸与品 ☐ 買取り） ☐ 標準図 MC 形 図示の位置に取付ける。 JIS又はJV ☐ 水道直結部分（ ☐ 10K ☐ ） その他の部分（ ☐ 5K ☐ ） ☐ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 管の上端より原則として、一般敷地は（ ☐ cm）構内道路は（ ☐ cm）以上とする。 ☐ 合成樹脂製 ☐ アルミニウム合金製 ☐ 人造石とぎ出し製 ☐ ステンレス製 標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の（ ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d) ☐ (e)）による。 ○要 ☐ 別途工事 ☐ 本工事 ☐ 不要	●撤去内容 ●保 温 材 ●支持金物等 ○石綿含有品 ●発生材の処理 ●図示による。 ●保温材は、配管・ダクト等より分離する。 ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。 撤去方法 ☐ 図示による ☐ ●金属類（ ☒ 機器類 ☐ ダクト ●配管 ●その他金属類）の処理は（ ☒ 構外搬出適切処理 ☐ ）とする。 ○特別管理産業廃棄物（ ☐ 別送 ☐ ）の処理は（ ☐ 構外搬出適切処理 ☐ 配管用成形保温材 ☐ フランジ用ガスケット）の処理は（ ☐ 構外搬出適切処理 ☐ 別送）とする。 ●上記以外のもの（ ☐ 別送 ☐ ）の処理は（ ☒ 構外搬出適切処理 ☐ 別送）とする。 ☐ 建設リサイクル法における再資源化等を行なう特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。 ○本工事 ☐ 別送 冷凍機等の搬去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2．4．3により、次の書類を監督職員に提出する。 ☐ フロン回収行程管理表の写し ☐ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し ●本工事
○冷媒（フロン類）の回収 ●吸収液の回収・処分	○上ガス対策 ○その他	○なし ○あり（ ☐ 自然換気口 ☐ ガス抜き管 ☐ 強制換気装置 ☐ ガス検知器（ ☐ その他（ ☐ ）） ☐ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ダクト ○風量測定口 ○ダンパー ○排気ダクトのシール ○チャンパー ○保温	○低圧ダクト（ ☐ コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分） ☐ アングルフランジ工法 ☐ スパイラルダクト）とする。 ☐ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ☐ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ●厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。 取付箇所は図示による。 空気調和設備の当該項目による。 ☐ 浴室内シャワー室、脱衣室を含む）系統 ☐ 厨房系統 ☐ 高圧2ダクトのシール 長方形ダクト N＋Aシール Bシール 円形ダクト A、Bシール Cシール 空気調和設備
--	--

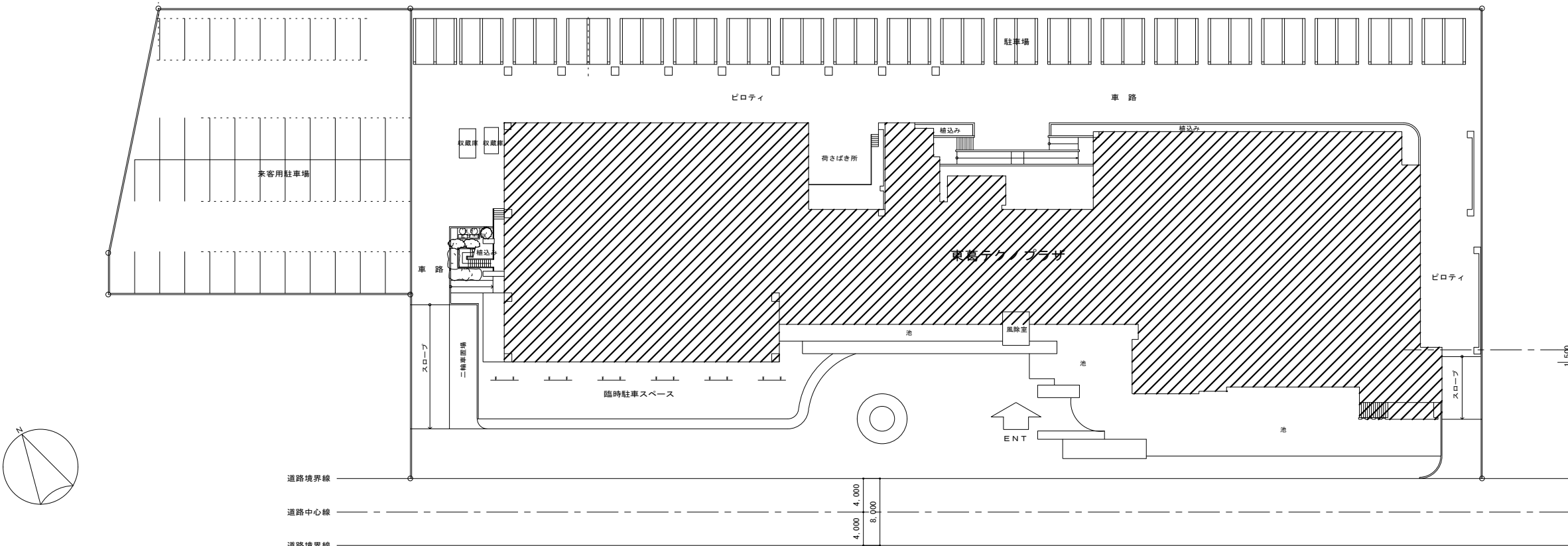
工事場所：東葛テクノプラザ
住所：千葉県柏市柏の葉5-4-6



案内図

凡 例（改修）				
記号	名称	仕様	使用箇所	規格
—OHS—	冷温水管（往）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CHR—	冷温水管（還）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CS—	冷水管（往）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CR—	冷水管（還）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—HS—	温水管（往）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—HR—	温水管（還）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CDR—	冷却水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CDR—	冷却水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—D—	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—G—	ガス管	ガス会社指定品（京葉ガス）	一般部分、機械室部分	
— -- —	加湿給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）	一般部分、機械室部分	JIS G 3442

凡 例（撤去）				
記号	名称	仕様	使用箇所	規格
—OHS—	冷温水管（往）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CHR—	冷温水管（還）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CS—	冷水管（往）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CR—	冷水管（還）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—HS—	温水管（往）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—HR—	温水管（還）	水道用亜鉛メッキ鋼管（SGPW）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CDR—	冷却水管（往）	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—CDR—	冷却水管（還）	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—D—	ドレン管	配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）	一般部分、機械室部分	JIS G 3452
—G—	ガス管	ガス会社指定品（京葉ガス）	一般部分、機械室部分	
— -- —	加湿給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）	一般部分、機械室部分	JIS G 3442



配置図 1/300

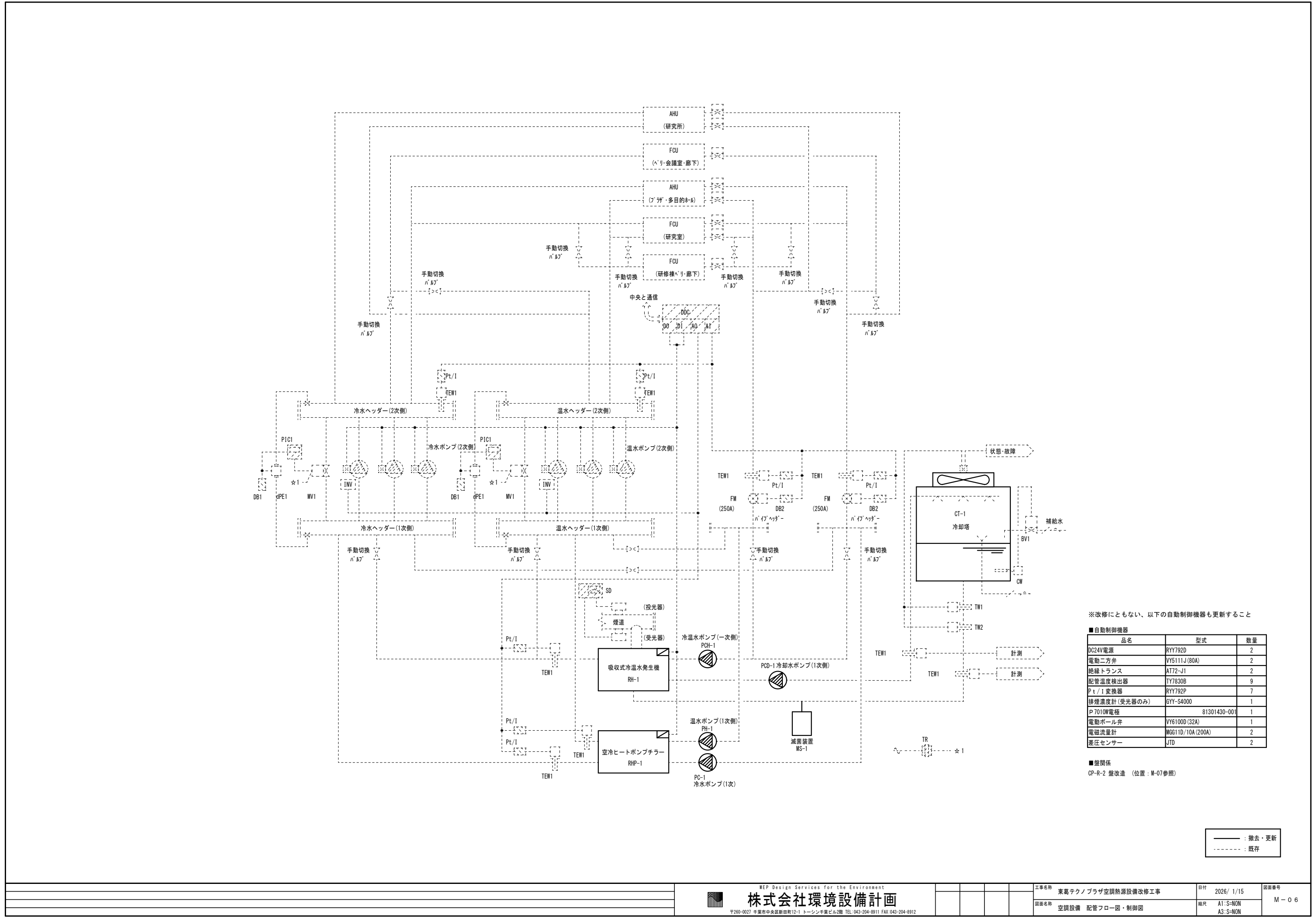
 : 工事範囲

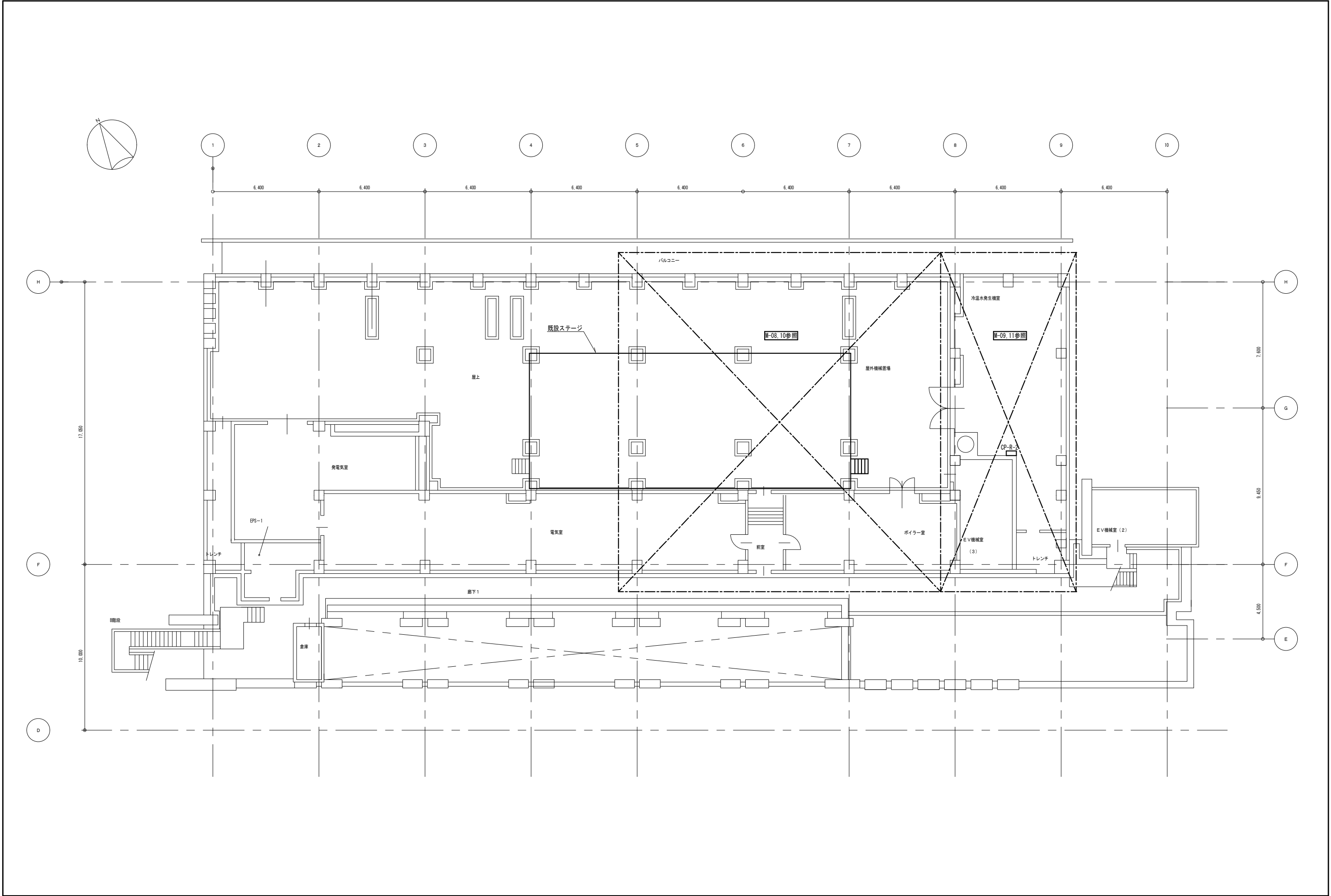
空調設備機器表（改修）

機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 容 量		台 数	据 付 位 置	備 考 (参考型番)
			電源	容量kw			
RHP-1	熱回収式 空冷ヒートポンプチラー	型式 空冷ヒートポンプチラー 冷温水同時取出型	3φ400V	圧縮機	1	屋上 屋外	UMRYP100G5Y
		冷却能力 265 kw 外気35℃		37×2			(ダイキン)
		冷水 760 L/min 圧力損失 45kPa		送風機			※分割搬入
		冷水 入口温度:12.0℃ 出口温度:7.0℃		0.8×8			最大分割重量 1570kg
		加熱能力 300 kw 外気7℃		冷却時			製品重量 4190kg
		温水 860 L/min 圧力損失 58kPa		91.0			
		温水 入口温度:40.0℃ 出口温度:45.0℃		加熱時			
		付属品 公共建築工事標準仕様、防振架台		94.0			
RH-1	吸収式冷温水発生機	型式 ガス焚吸収式冷温水発生機	3φ400V	22kVA	1	屋上 冷温水発生機室	RHDGH040F
		冷凍能力 1,407kw (400USRT)					(荏原冷熱システム)
		加熱能力 1,324kw (1,138.6Mcal/h)					QCWR400FG3P
		冷水量 4,032 L/min 圧力損失 76.0kPa					(パナソニック)
		冷水 入口温度:12.0℃ 出口温度:7.0℃					
		温水量 4,032 L/min 圧力損失 76.0kPa					コンクリート基礎:増し打ち
		温水 入口温度:40.3℃ 出口温度:45.0℃					※分割搬入
		冷却水量 6,667 L/min 圧力損失 76.0kPa					最大分割重量 6300kg(参考)
		冷却水 入口温度:32.0℃ 出口温度:37.0℃					製品重量 16.7 ton
		燃料 都市ガス 13A					
		ガス 高位発熱量 45MJ/m3N					
		ガス消費量 冷房時 90.5m3N/h 暖房時 124.6m3N/h					
		付属品 公共建築工事標準仕様、防振パッド、3分割搬入、400V仕様					
		ガス緊急遮断弁、感震器、その他標準付属品					
CT-1	冷却塔	型式 角型開放式クロスフロータイプ 低騒音型	3φ400V	5.5×3	1	屋上 屋外	SDW-U375ASD
		冷却能力 2,325.7kw					(荏原冷熱システム)
		冷却水量 6,667 L/min					SKBL-513R
		冷却水 入口温度:37.0℃ 出口温度:32.0℃					(空研工業)
		外気湿球温度 27.0 ℃WB					HT-395MEA-RM
		付属品 公共建築工事標準仕様、モーター異電圧、スプリング防振架台					(三菱ケミカルインフラテック)
		上部散水槽蓋、上部手摺、その他標準付属品					※分割搬入
PCH-1	冷温水ポンプ (一次側)	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	22.0	1	屋上 冷温水発生機室	荏原:150×125FS4K522AE
		能力 150φ × 125φ × 4,032L/min × 21m					テラル:SJ4-150×125J522-e
		付属品 公共建築工事標準仕様、防振架台、圧力計、達成計、その他標準付属品					川本:6EM1505M4ME22
							製品重量 447 kg
PC-1	冷水ポンプ (一次側)	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	5.5	1	屋上 冷温水発生機室	荏原:80×65FS4J55.5F
		能力 80φ × 65φ × 900L/min × 20m					テラル:SJ4-80×65J55.5-e
		付属品 公共建築工事標準仕様、防振架台、圧力計、達成計、その他標準付属品					川本:GEL805M4ME5.5
							製品重量 156 kg
PH-1	温水ポンプ (一次側)	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	5.5	1	屋上 冷温水発生機室	荏原:80×65FS4J55.5F
		能力 80φ × 65φ × 860L/min × 20m					テラル:SJ4-80×65J55.5-e
		付属品 公共建築工事標準仕様、防振架台、圧力計、達成計、その他標準付属品					川本:GEL805M4ME5.5
							製品重量 156 kg
PCD-1	冷却水ポンプ	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	37.0	1	屋上 ボイラー室	荏原:200×150FS4K537E
		能力 200φ × 150φ × 6,667L/min × 23m					テラル:SJ4-200×150J545-e
		付属品 公共建築工事標準仕様、防振架台、圧力計、達成計、その他標準付属品					川本:6FM2005G4ME37
							製品重量 667 kg
MS-1	滅菌装置	型式 ダイヤフラム式ソレノイド駆動定量ポンプ	1φ200V	26w	1	屋上 冷温水発生機室	CBA-PTS-120-PZ30R-VTCE-HWJ
		能力 ポンプ:最大吐出量30mL/min、最大吐出圧力1.0MPa					(タクミナ社)
		薬液タンク120L					※空研工業と三菱が共同開発の
		付属品 アンカー固定用平座金、PVCブレードホース、サイホン止めチャッキ弁					製品では、冷却塔付属品に含む
		薬液名シール、インシュロック、導電率電極、その他標準付属品					ものとする
							製品重量 23 kg
							コンクリート基礎:新設

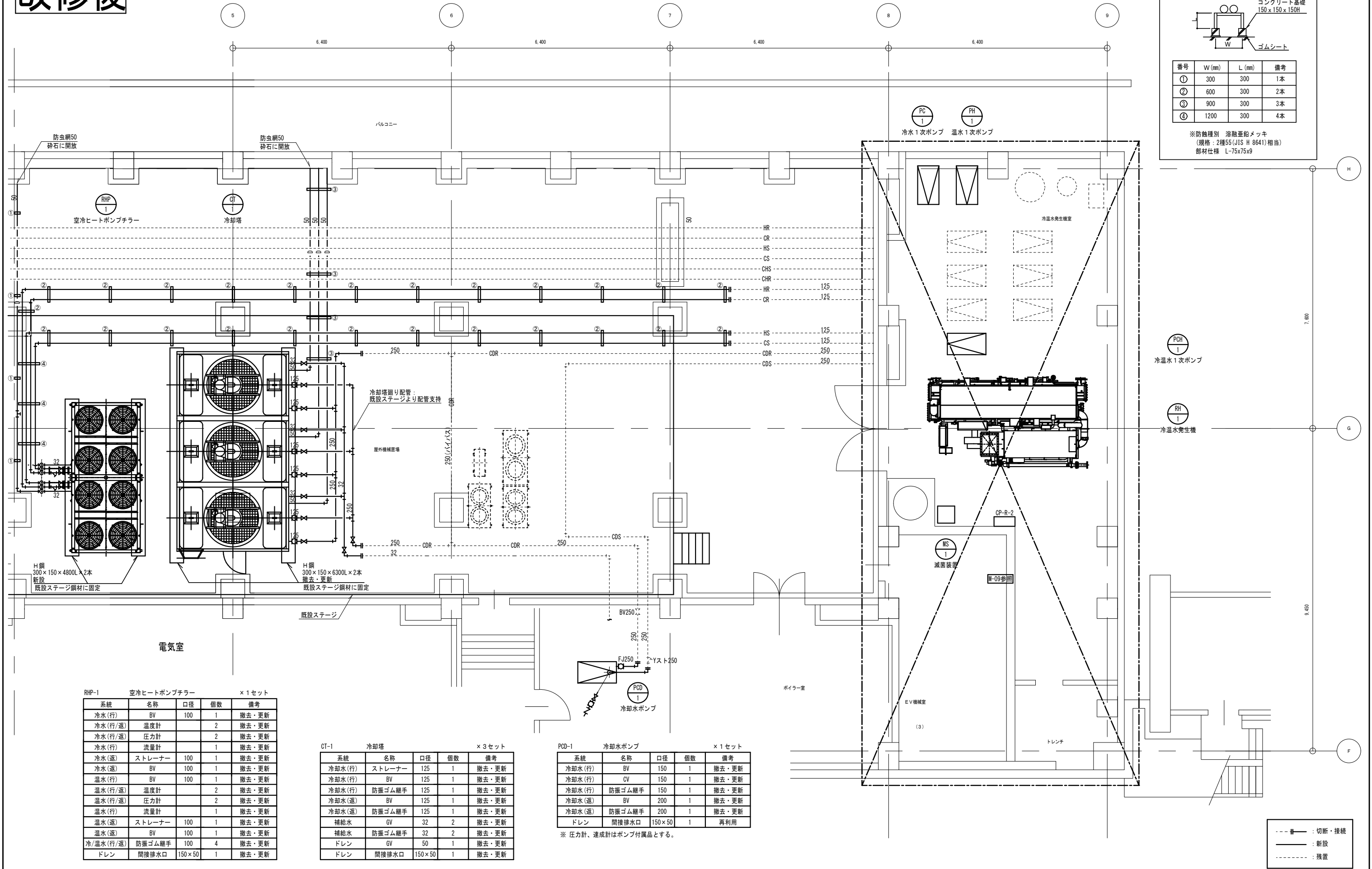
空調設備機器表（撤去）

機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 気 容 量		台 数	据 付 位 置	備 考 (既存型番)
			電源	容量kw			
RHP-1	空冷ヒートポンプチラー	型式 空冷ヒートポンプチラー 90USRT 冷温水同時取出型(チェスバック)	3φ400V	圧縮機	1	屋上 屋外	UMRYD120A5YR
		冷却能力 230,000 kcal/h(267kw) 外気35℃		45×2			(ダイキン)
		冷水 767 L/min 圧力損失 3.27mH2O		送風機			
		冷水 入口温度:12.0℃ 出口温度:7.0℃		0.55×12			※分割搬出
		加熱能力 264,000 kcal/h(307kw) 外気7℃					本体重量 7480kg
		温水 880 L/min 圧力損失 2.8mH2O					架台重量 471kg
		温水 入口温度:40.0℃ 出口温度:45.0℃					
		防振架台					
RH-1	吸収式冷温水発生機	型式 ガス焚吸収式冷温水発生機	3φ400V	20.3kVA	1	屋上 冷温水発生機室	ADGN40A2
		冷凍能力 1,407kw (400USRT)					(ダイキン)
		加熱能力 1,406kw (1,209,000kcal/h)					
		冷水量 4,033 L/min 圧力損失 7mAq					※分割搬出
		冷水 入口温度:12.0℃ 出口温度:7.0℃					本体重量 14.2ton
		温水量 4,033 L/min 圧力損失 8mAq					
		温水 入口温度:40.0℃ 出口温度:45.0℃					※臭化リチウム溶液回収を
		冷却水量 6,700 L/min 圧力損失 15mAq					行い、適切に処分すること
		冷却水 入口温度:32.0℃ 出口温度:37.5℃					
		燃料 都市ガス 13A					
		ガス使用量 冷房時 109.2Nm3/h 暖房時 130.5Nm3/h					
		高位発熱量 46100KJ/Nm3 (11,000kcal/Nm3)					
		供給圧 1.96kPa(200mmAq)					
CT-1	冷却塔	型式 開放式冷却塔 低騒音型	3φ400V	5.5×3	1	屋上 屋外	CTA-406PUFWZ
		冷却能力 2,210,000kcal(2,570kw) 外気27℃					(日本スピンドル)
		冷却水量 6,700 L/min					
		冷却水 入口温度:37.5℃ 出口温度:32.0℃					※分割搬出
		外気湿球温度 27.0 ℃WB					本体重量 3730kg
		付属品 防振架台(スプリング防振)					
PCH-1	冷温水ポンプ (一次側)	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	22.0	1	屋上 冷温水発生機室	SJ4-150×125J522
		能力 150φ × 125φ × 4,030L/min × 21mmAq					(テラル)
		付属品 防振架台(ゴム防振)					
							本体重量 453kg
PC-1	冷水ポンプ (一次側)	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	5.5	1	屋上 冷温水発生機室	SJ4-80×65K55.5
		能力 80φ × 65φ × 900L/min × 20mmAq					(テラル)
		付属品 防振架台(ゴム防振)					
							本体重量 167kg
PH-1	温水ポンプ (一次側)	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	5.5	1	屋上 冷温水発生機室	SJ4-80×65K55.5
		能力 80φ × 65φ × 860L/min × 20mmAq					(テラル)
		付属品 防振架台(ゴム防振)					
							本体重量 167kg
PCD-1	冷却水ポンプ	型式 片吸込渦巻式	3φ400V	37.0	1	屋上 ボイラー室	SJ4-200×150J537
		能力 200φ × 150φ × 6,700L/min × 23mmAq					(テラル)
		付属品 防振架台(ゴム防振)					
							本体重量 620kg





改修後



配管架台参考図

Concrete base 150 x 150 x 150H, Rubber sheet, W, L.

番号	W (mm)	L (mm)	備考
①	300	300	1本
②	600	300	2本
③	900	300	3本
④	1200	300	4本

※防蝕種別 溶融亜鉛メッキ (規格: 2種55 (JIS H 8641) 相当) 部材仕様 L-75x75x9

RHP-1 空冷ヒートポンプチラー × 1 セット

系統	名称	口径	個数	備考
冷水(行)	BV	100	1	撤去・更新
冷水(行/返)	温度計		2	撤去・更新
冷水(行/返)	圧力計		2	撤去・更新
冷水(行)	流量計		1	撤去・更新
冷水(返)	ストレーナー	100	1	撤去・更新
冷水(返)	BV	100	1	撤去・更新
温水(行)	BV	100	1	撤去・更新
温水(行/返)	温度計		2	撤去・更新
温水(行/返)	圧力計		2	撤去・更新
温水(行)	流量計		1	撤去・更新
温水(返)	ストレーナー	100	1	撤去・更新
温水(返)	BV	100	1	撤去・更新
冷/温水(行/返)	防振ゴム継手	100	4	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150×50	1	撤去・更新

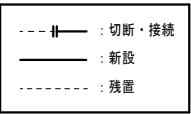
CT-1 冷却塔 × 3 セット

系統	名称	口径	個数	備考
冷却水(行)	ストレーナー	125	1	撤去・更新
冷却水(行)	BV	125	1	撤去・更新
冷却水(行)	防振ゴム継手	125	1	撤去・更新
冷却水(返)	BV	125	1	撤去・更新
冷却水(返)	防振ゴム継手	125	1	撤去・更新
補給水	GV	32	2	撤去・更新
補給水	防振ゴム継手	32	2	撤去・更新
ドレン	GV	50	1	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150×50	1	撤去・更新

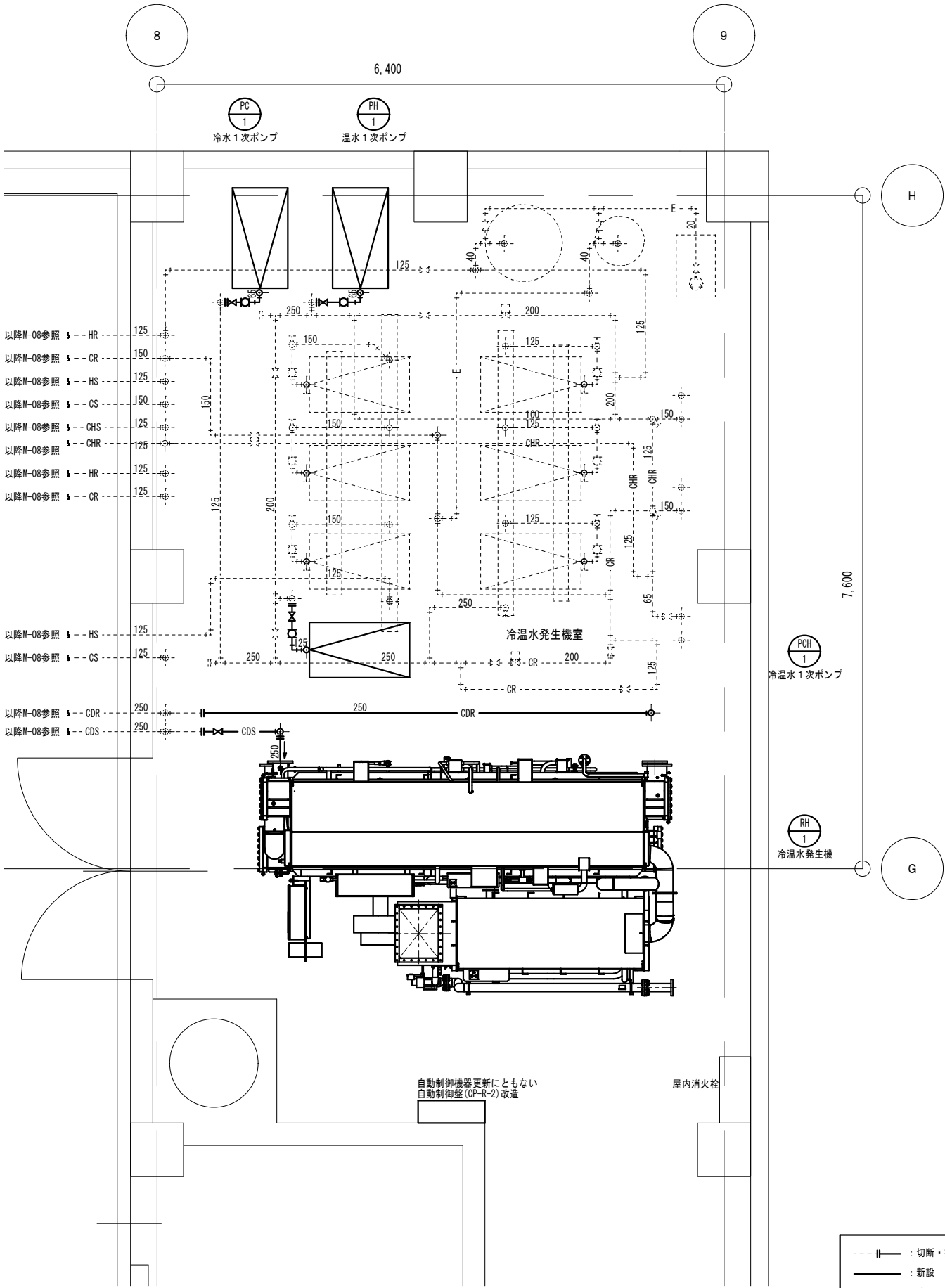
PCD-1 冷却水ポンプ × 1 セット

系統	名称	口径	個数	備考
冷却水(行)	BV	150	1	撤去・更新
冷却水(行)	CV	150	1	撤去・更新
冷却水(行)	防振ゴム継手	150	1	撤去・更新
冷却水(返)	BV	200	1	撤去・更新
冷却水(返)	防振ゴム継手	200	1	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150×50	1	再利用

※ 圧力計、達成計はポンプ付属品とする。



改修後



下部詳細図

PC-1 冷水1次ポンプ ×1セット				
系統	名称	口径	個数	備考
冷水(行)	BV	65	1	撤去・更新
冷水(行)	CV	65	1	撤去・更新
冷水(行)	防振ゴム継手	65	1	撤去・更新
冷水(返)	BV	80	1	撤去・更新
冷水(返)	防振ゴム継手	80	1	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150×50	1	再利用

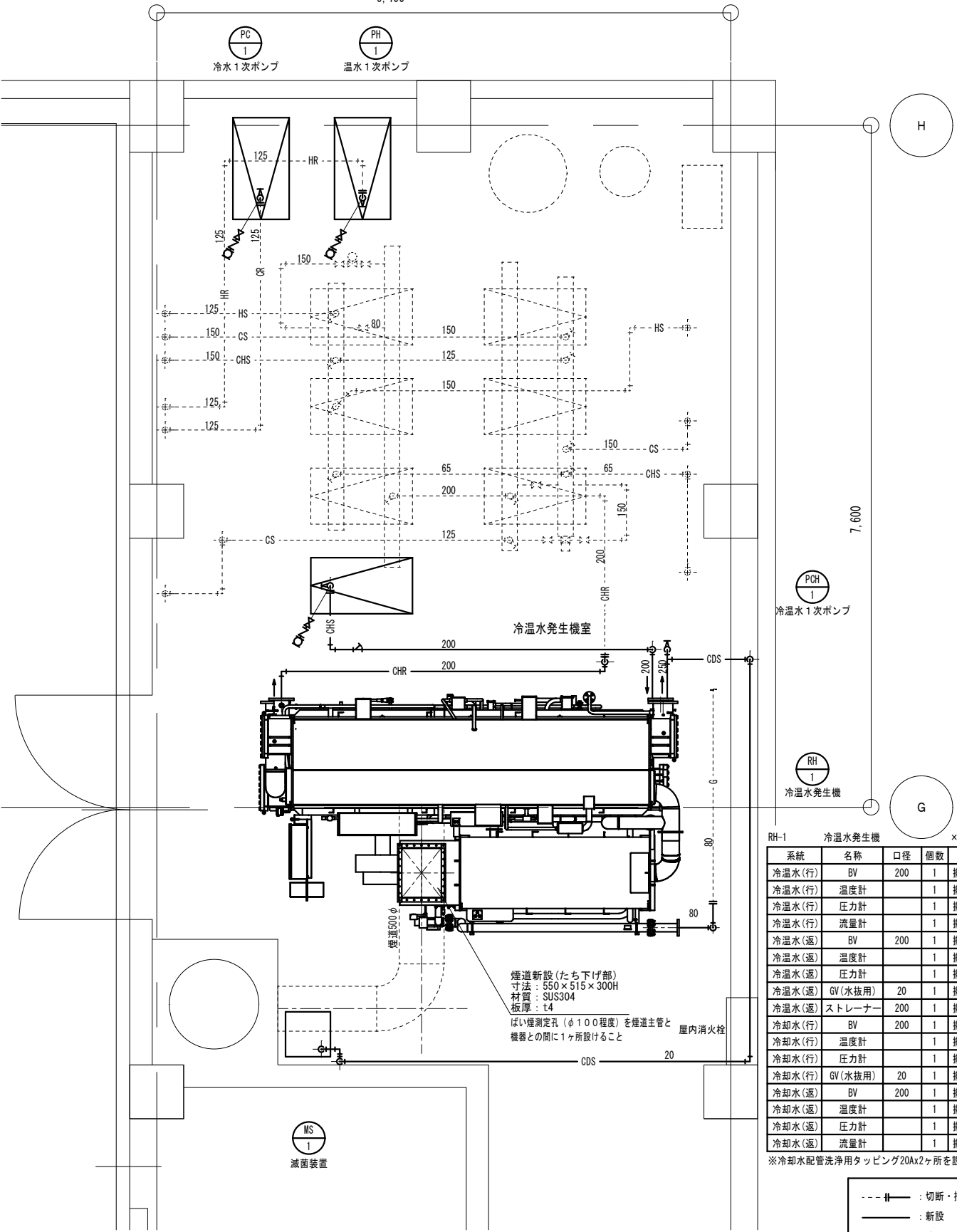
※ 圧力計、達成計はポンプ付属品とする。

PH-1 温水1次ポンプ ×1セット				
系統	名称	口径	個数	備考
温水(行)	BV	65	1	撤去・更新
温水(行)	CV	65	1	撤去・更新
温水(行)	防振ゴム継手	65	1	撤去・更新
温水(返)	BV	80	1	撤去・更新
温水(返)	防振ゴム継手	80	1	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150×50	1	再利用

※ 圧力計、達成計はポンプ付属品とする。

PCH-1 冷温水1次ポンプ ×1セット				
系統	名称	口径	個数	備考
冷温水(行)	BV	125	1	撤去・更新
冷温水(行)	CV	125	1	撤去・更新
冷温水(行)	防振ゴム継手	125	1	撤去・更新
冷温水(返)	BV	150	1	撤去・更新
冷温水(返)	防振ゴム継手	150	1	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150×50	1	再利用

※ 圧力計、達成計はポンプ付属品とする。



上部詳細図

RH-1 冷温水発生機 ×1セット				
系統	名称	口径	個数	備考
冷温水(行)	BV	200	1	撤去・更新
冷温水(行)	温度計		1	撤去・更新
冷温水(行)	圧力計		1	撤去・更新
冷温水(行)	流量計		1	撤去・更新
冷温水(返)	BV	200	1	撤去・更新
冷温水(返)	温度計		1	撤去・更新
冷温水(返)	圧力計		1	撤去・更新
冷温水(返)	GV(水抜用)	20	1	撤去・更新
冷温水(返)	ストレーナー	200	1	撤去・更新
冷却水(行)	BV	200	1	撤去・更新
冷却水(行)	温度計		1	撤去・更新
冷却水(行)	圧力計		1	撤去・更新
冷却水(行)	GV(水抜用)	20	1	撤去・更新
冷却水(返)	BV	200	1	撤去・更新
冷却水(返)	温度計		1	撤去・更新
冷却水(返)	圧力計		1	撤去・更新
冷却水(返)	流量計		1	撤去・更新

※ 冷却水配管洗浄用タッピング20A×2ヶ所を設けること。

--- : 切断・接続
— : 新設
- - - : 残置



株式会社環境設備計画

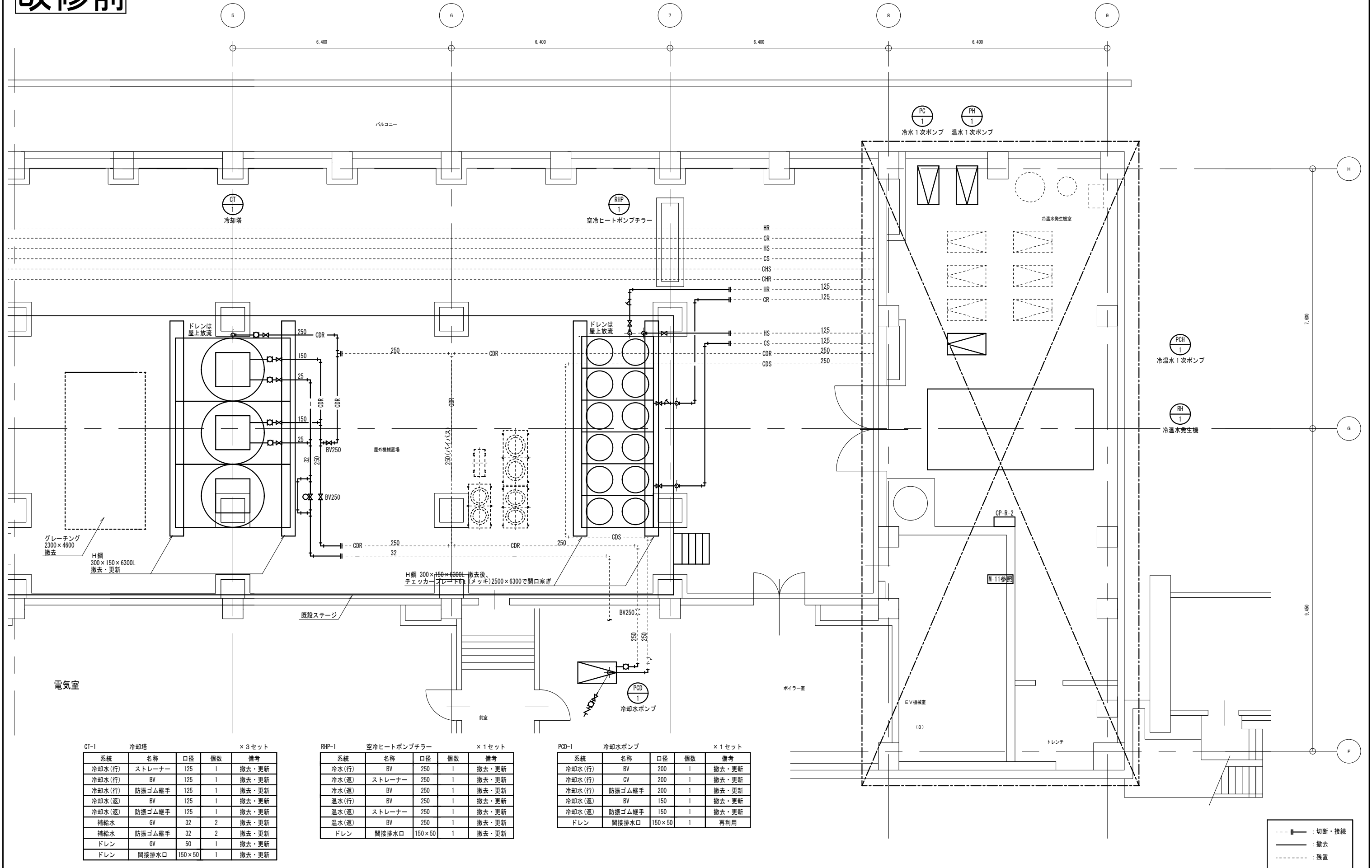
〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル2階 TEL: 043-204-8911 FAX: 043-204-8912

工事名称 東葛テクノプラザ空調熱源設備改修工事
図面名称 空調設備 R階詳細図(2) (改修)

日付 2026/ 1/15
縮尺 A1:S=1/30
A3:S=1/60

図面番号 M-09

改修前



CT-1 冷却塔 × 3セット					
系統	名称	口径	個数	備考	
冷却水(行)	ストレーナー	125	1	撤去・更新	
冷却水(行)	BV	125	1	撤去・更新	
冷却水(行)	防振ゴム継手	125	1	撤去・更新	
冷却水(返)	BV	125	1	撤去・更新	
冷却水(返)	防振ゴム継手	125	1	撤去・更新	
補給水	GV	32	2	撤去・更新	
補給水	防振ゴム継手	32	2	撤去・更新	
ドレン	GV	50	1	撤去・更新	
ドレン	間接排水口	150×50	1	撤去・更新	

RHP-1 空冷ヒートポンプチラー × 1セット					
系統	名称	口径	個数	備考	
冷水(行)	BV	250	1	撤去・更新	
冷水(返)	ストレーナー	250	1	撤去・更新	
冷水(返)	BV	250	1	撤去・更新	
温水(行)	BV	250	1	撤去・更新	
温水(返)	ストレーナー	250	1	撤去・更新	
温水(返)	BV	250	1	撤去・更新	
ドレン	間接排水口	150×50	1	撤去・更新	

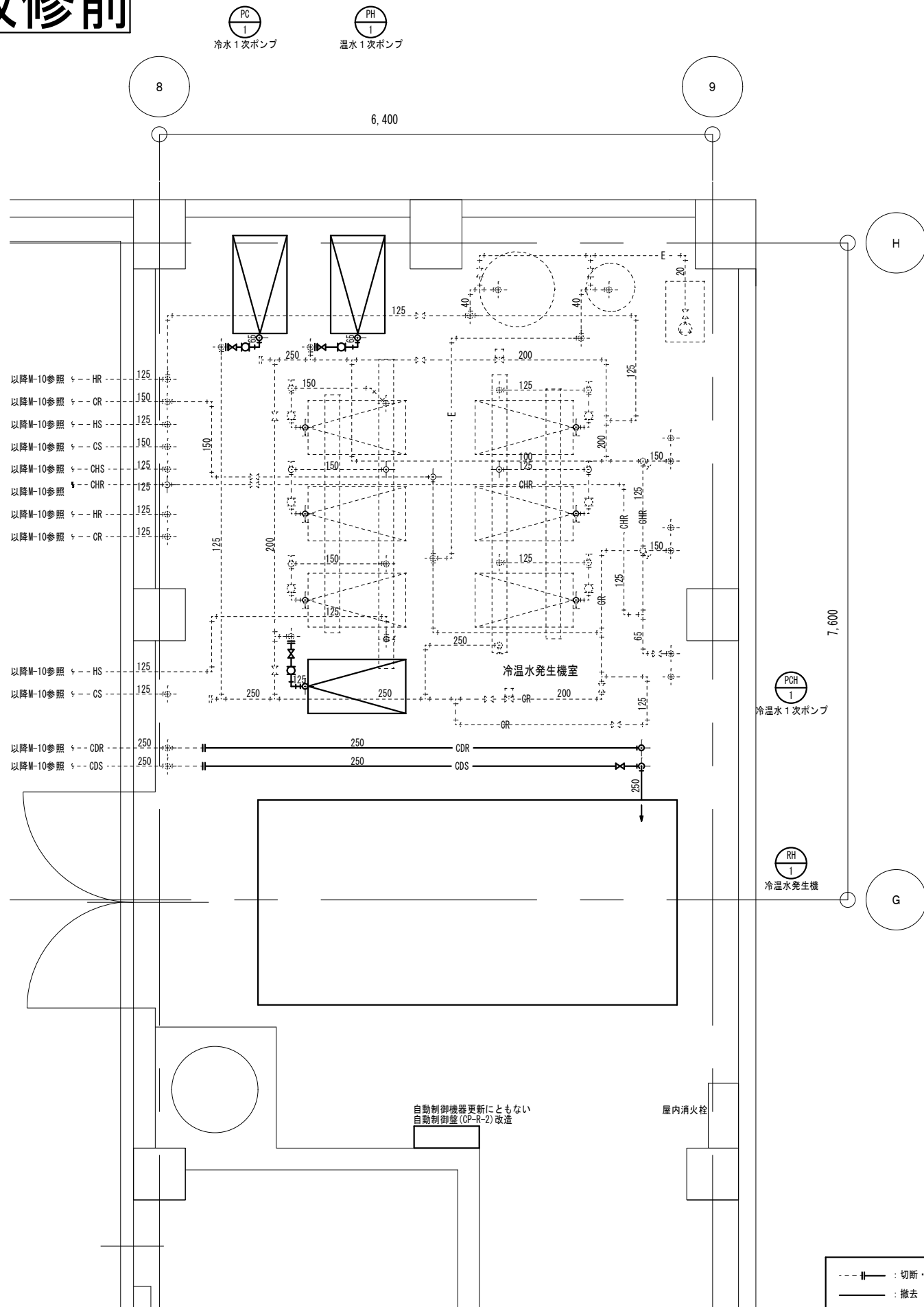
PCD-1 冷却水ポンプ × 1セット					
系統	名称	口径	個数	備考	
冷却水(行)	BV	200	1	撤去・更新	
冷却水(行)	CV	200	1	撤去・更新	
冷却水(行)	防振ゴム継手	200	1	撤去・更新	
冷却水(返)	BV	150	1	撤去・更新	
冷却水(返)	防振ゴム継手	150	1	撤去・更新	
ドレン	間接排水口	150×50	1	再利用	

切断・接続

撤去

残置

改修前

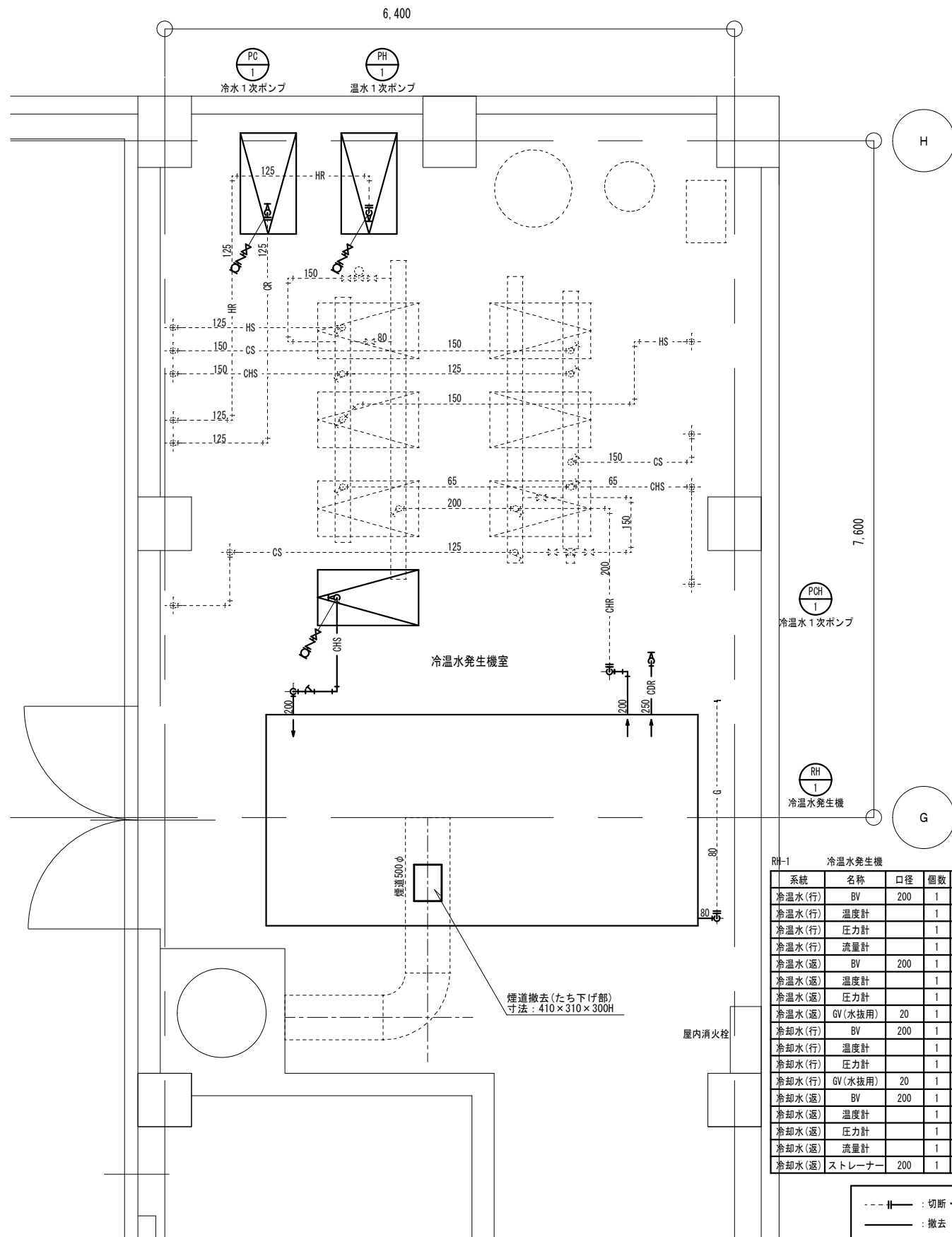


下部詳細図

PC-1		冷水 1 次ポンプ		× 1 セット	
系統	名称	口径	個数	備考	
冷水 (行)	GV	65	1	撤去・更新	
冷水 (行)	CV	65	1	撤去・更新	
冷水 (行)	防振ゴム継手	65	1	撤去・更新	
冷水 (返)	GV	80	1	撤去・更新	
冷水 (返)	防振ゴム継手	80	1	撤去・更新	
ドレン	間接排水口	150 × 50	1	再利用	

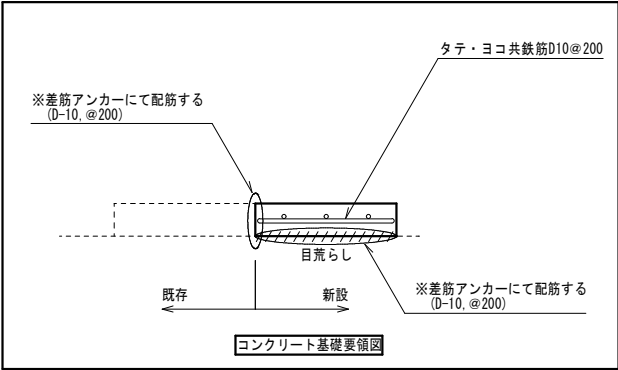
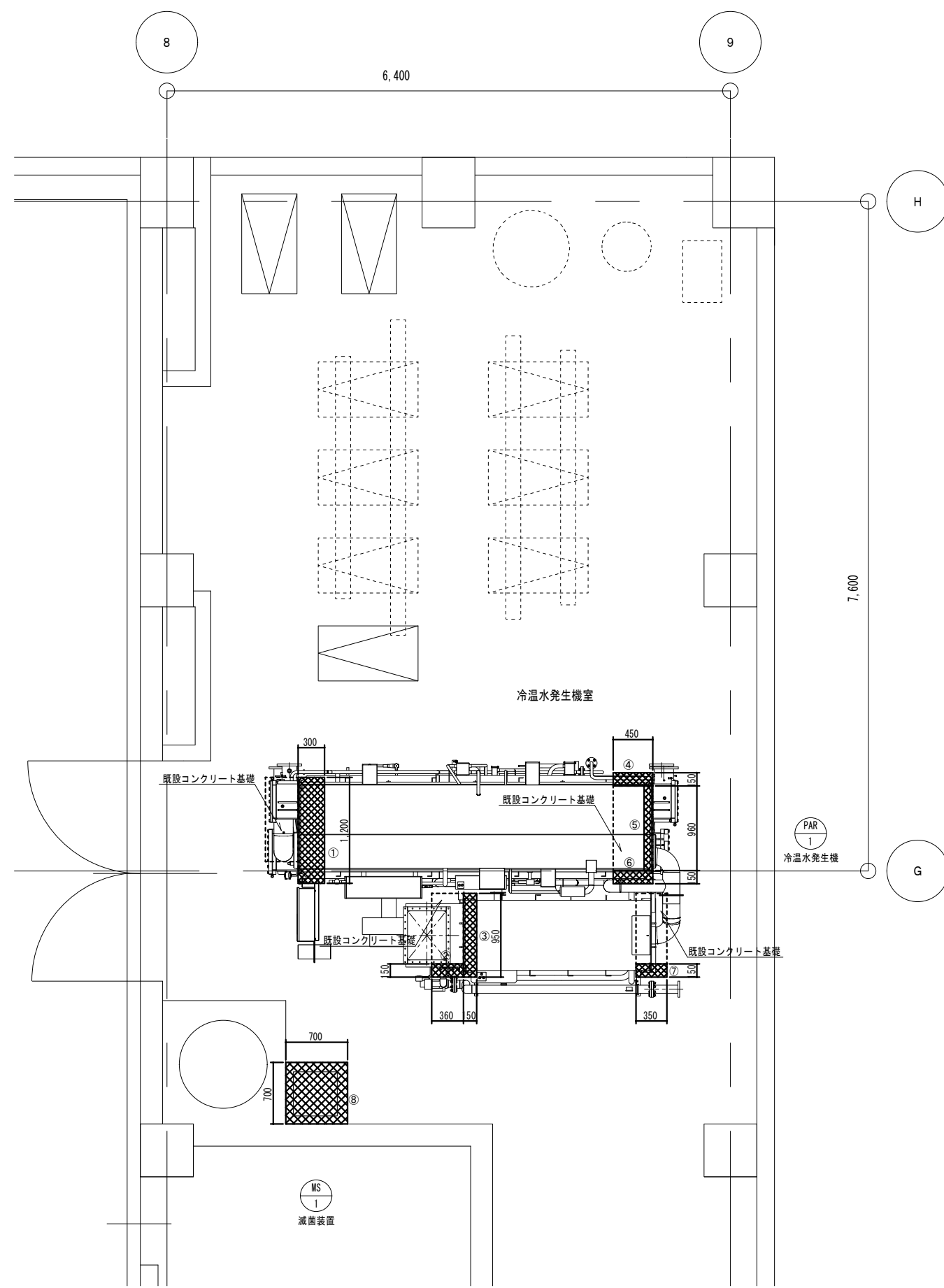
PH-1	温水 1 次ポンプ		× 1 セット	
系統	名称	口径	個数	備考
温水 (行)	GW	65	1	撤去・更新
温水 (行)	CV	65	1	撤去・更新
温水 (行)	防護 GW 継手	65	1	撤去・更新
温水 (返)	GW	80	1	撤去・更新
温水 (返)	防護 GW 継手	80	1	撤去・更新
ドレン	間接排水口	150 × 50	1	再利用

PGH-1		冷温水1次ポンプ		×1セット	
系統	名称	口径	個数	備考	
冷温水(行)	BV	125	1	撤去・更新	
冷温水(行)	CV	125	1	撤去・更新	
冷温水(行)	防護ゴム継手	125	1	撤去・更新	
冷温水(返)	BV	150	1	撤去・更新	
冷温水(返)	防護ゴム継手	150	1	撤去・更新	
ドレン	間接排水口	150×50	1	再利用	



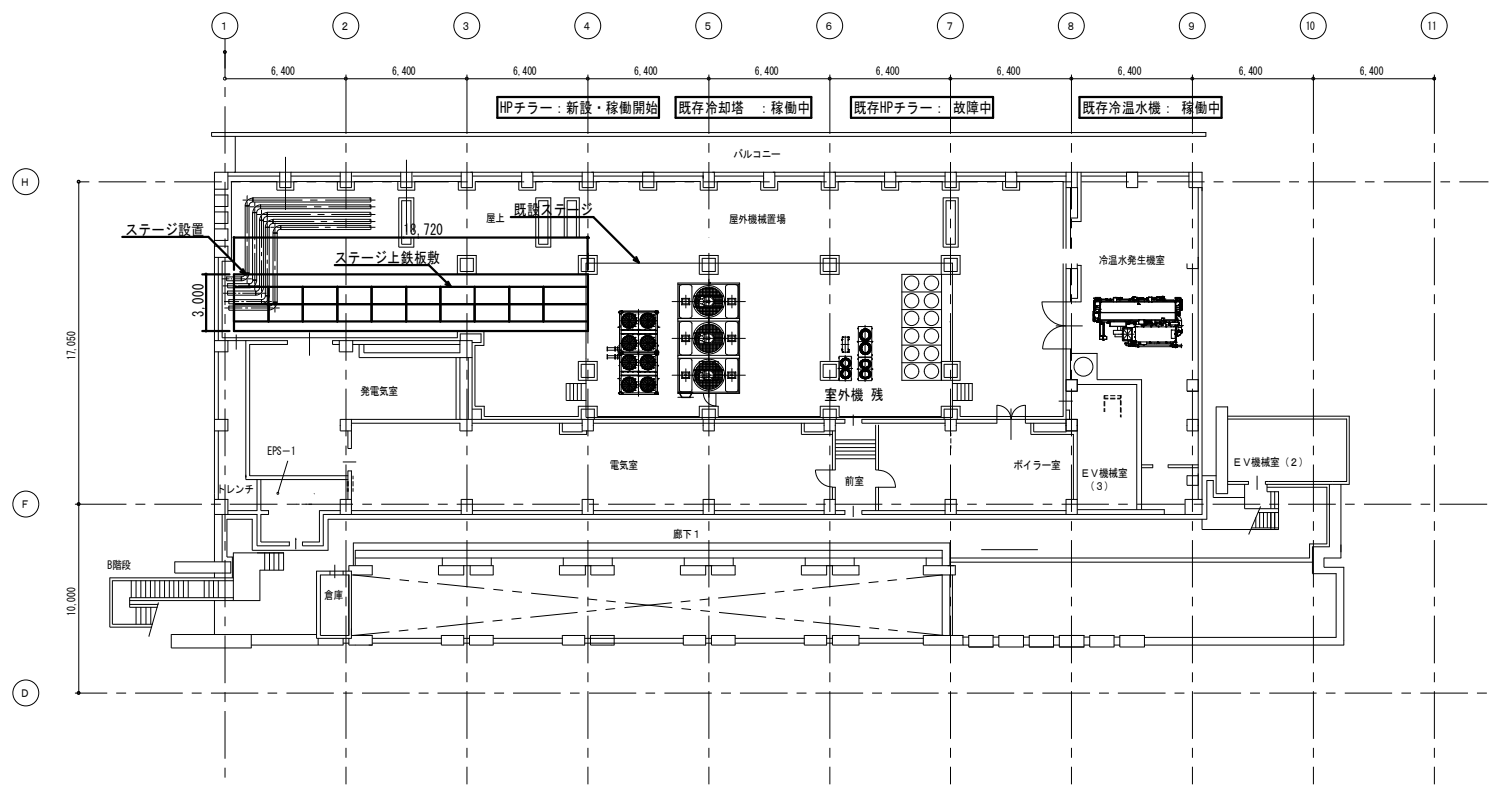
上部詳細図

※1-1 冷温水発生機		×1セット		
系統	名称	口径	個数	備考
冷温水(行)	BV	200	1	撤去・更新
冷温水(行)	温度計		1	撤去・更新
冷温水(行)	圧力計		1	撤去・更新
冷温水(行)	流量計		1	撤去・更新
冷温水(返)	BV	200	1	撤去・更新
冷温水(返)	温度計		1	撤去・更新
冷温水(返)	圧力計		1	撤去・更新
冷温水(返)	GV(水抜用)	20	1	撤去・更新
冷却水(行)	BV	200	1	撤去・更新
冷却水(行)	温度計		1	撤去・更新
冷却水(行)	圧力計		1	撤去・更新
冷却水(行)	GV(水抜用)	20	1	撤去・更新
冷却水(返)	BV	200	1	撤去・更新
冷却水(返)	温度計		1	撤去・更新
冷却水(返)	圧力計		1	撤去・更新
冷却水(返)	流量計		1	撤去・更新
冷却水(返)	ストレーナー	200	1	撤去・更新

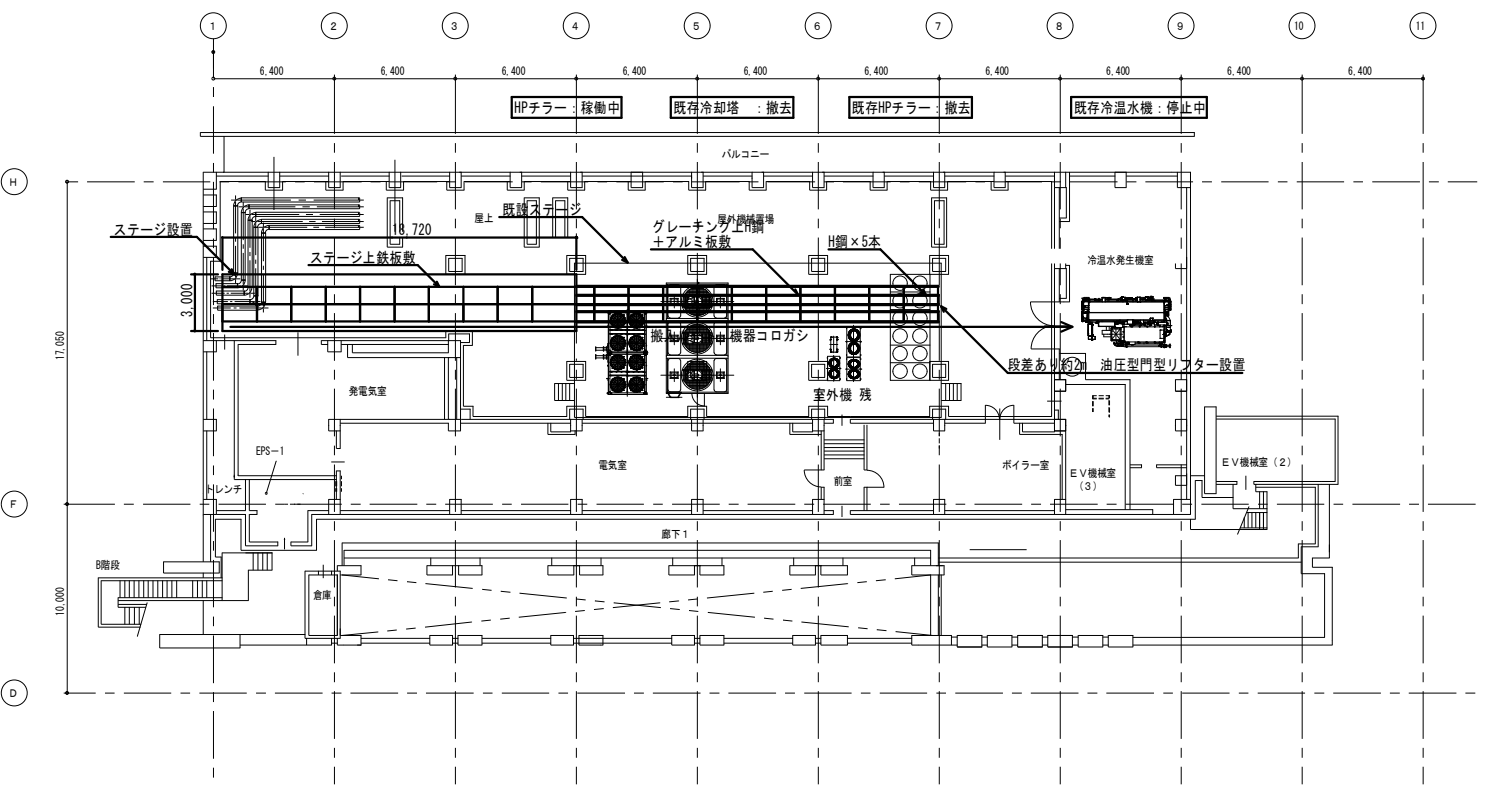


新設コンクリート基礎リスト		
番号	大きさ	備考
①	1200×300×150H	冷水発生機 (RH-1) 用
②	360×150×150H	
③	950×150×150H	
④	450×150×150H	
⑤	100×960×150H	
⑥	450×150×150H	
⑦	350×150×150H	
⑧	700×700×150H	減菌装置 (MS-1) 用

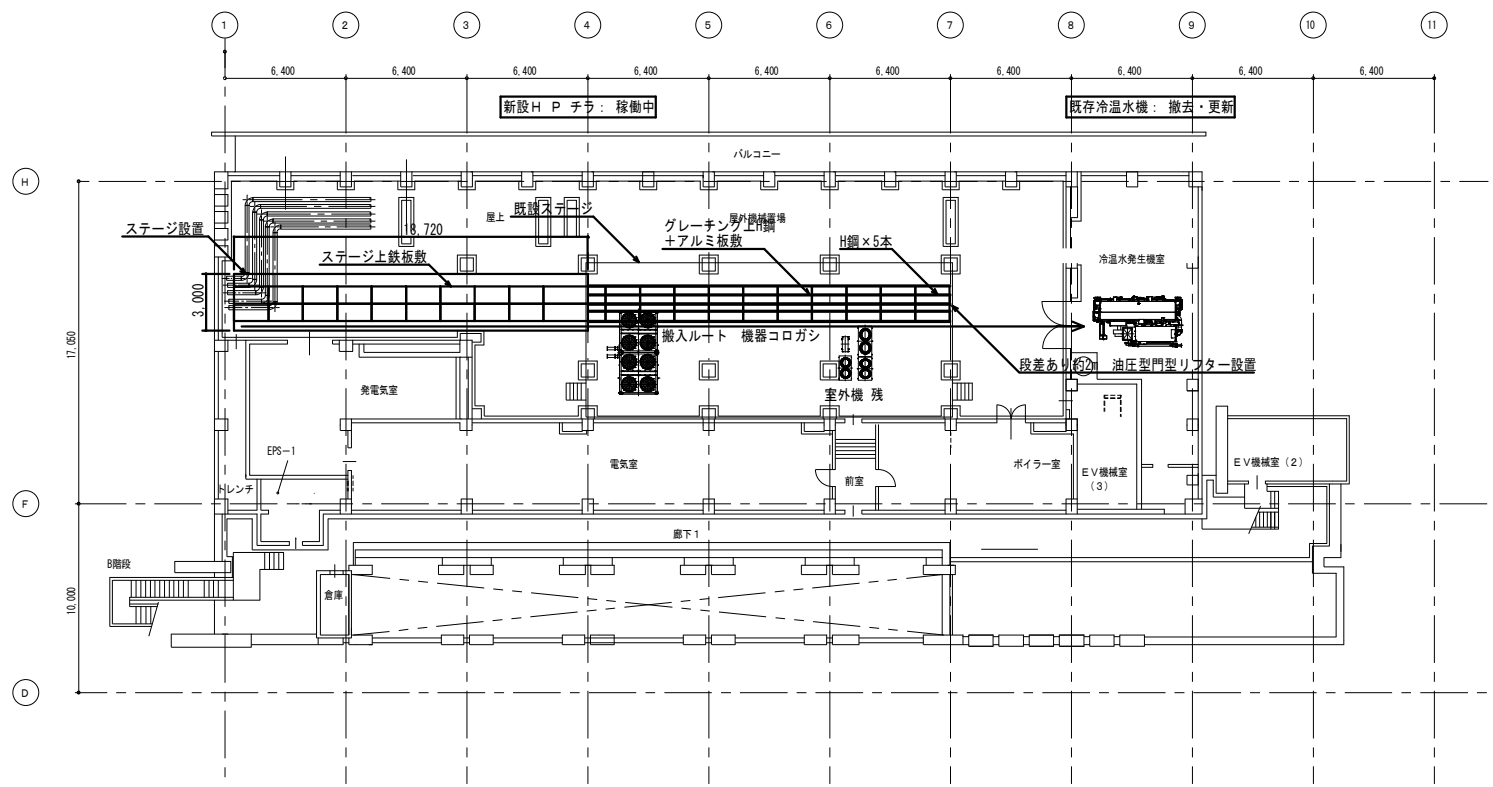
手順① 既設ステージ駐車場側に仮設ステージを設置し、
チラーユニットを据付・配管・配線する。（中間期前）



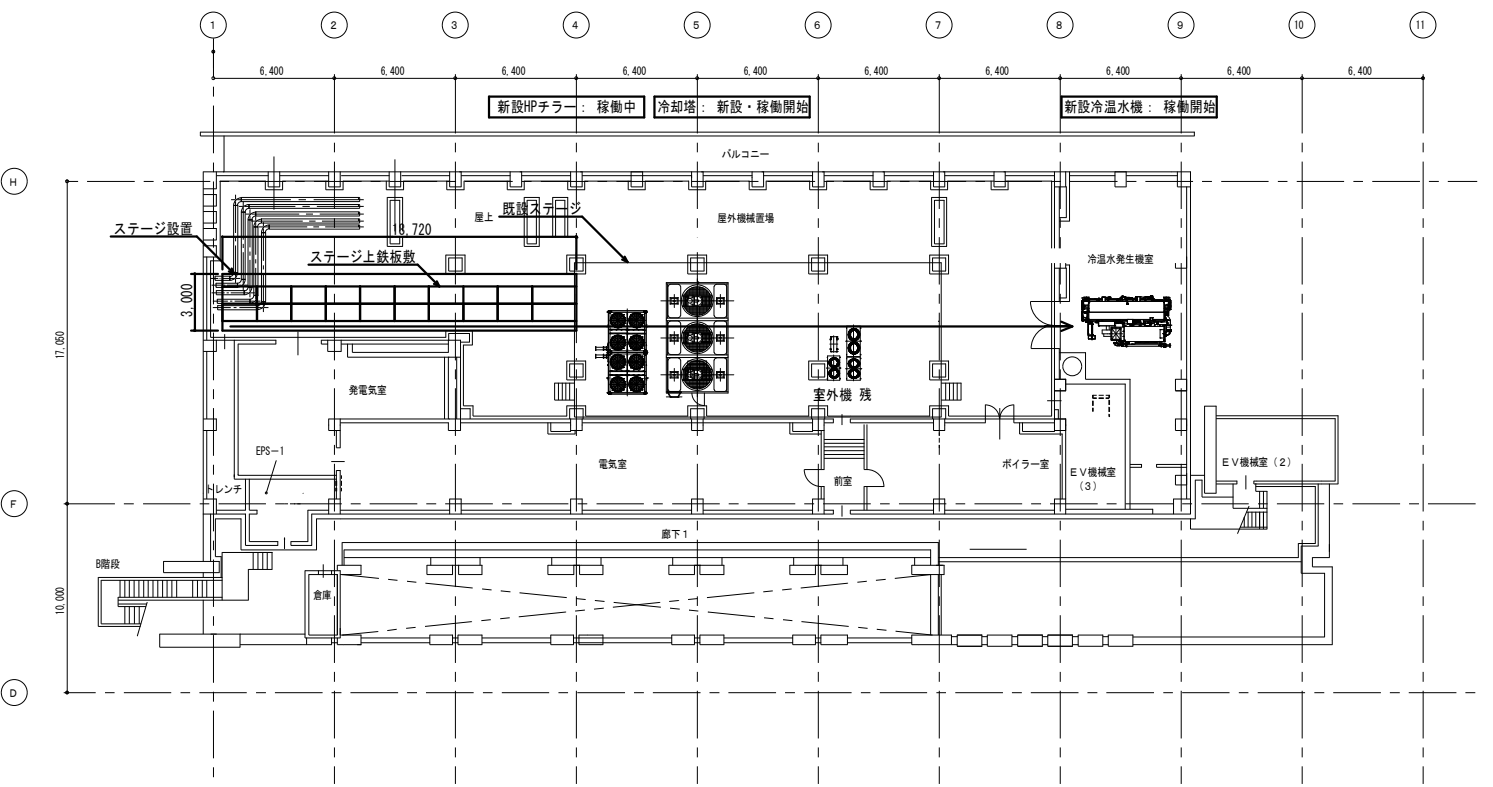
手順② 既存冷却塔、既存H P チラーを撤去しつつ、
冷温水機搬入ルートを構築する。（中間期）



手順③ 吸収冷温水機を更新する。（中間期）

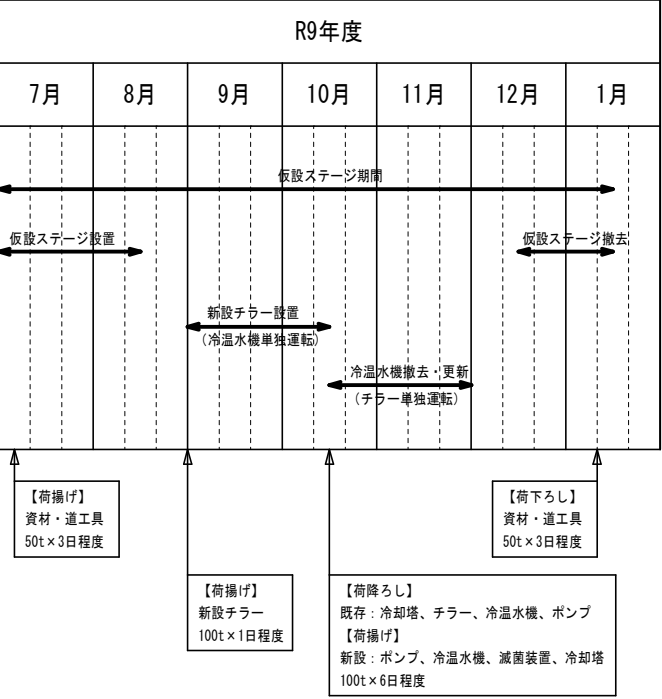


手順④ 搬入ルートを撤収しつつ、冷却塔を設置する。（中間期～ 中間期後）



参考図

概略工事工程表(参考)

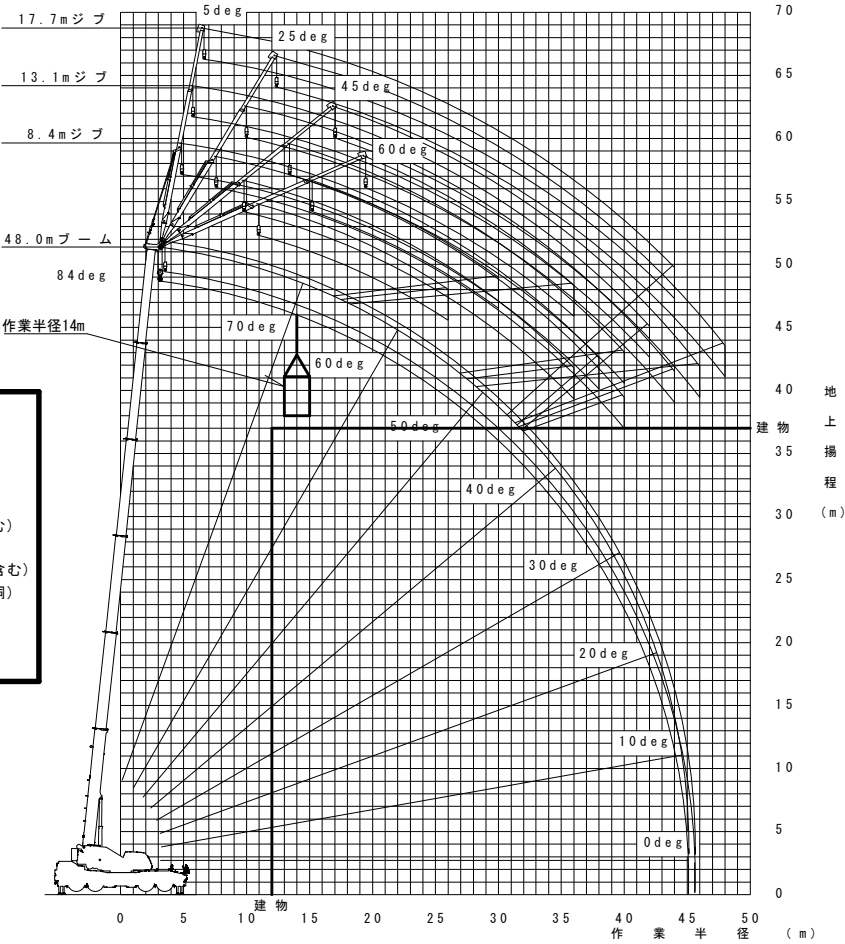


※クレーン設置時は、交通誘導員（2名/日）を配置すること。

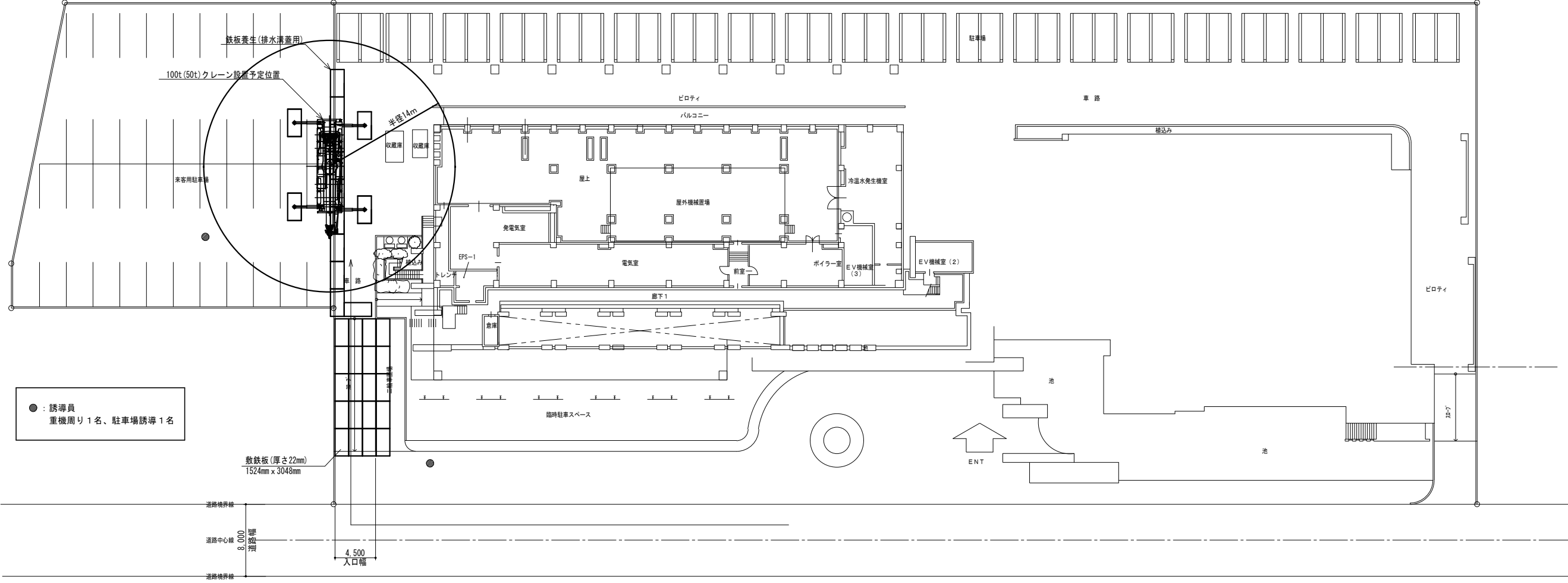
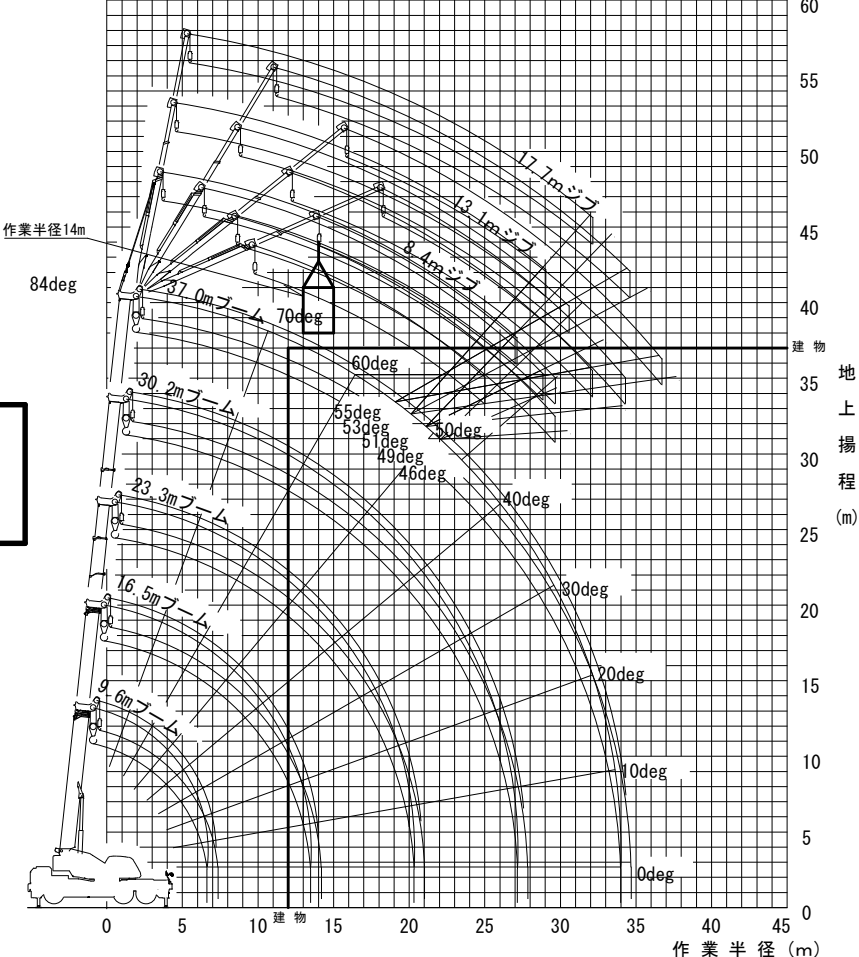
【100tクレーン】
アウトリガ張出：7.8m
メインブーム：48m
カウンタウェイト：4.0t
作業半径：14m
定格総荷重：7.15t(フック含む)

最大搬入荷重：6.3t(架台含む)
(吸収冷水機 下部低温側)

撤去機器は、定格荷重以下
に分割し、搬出すること



【50tクレーン】
アウトリガ張出：7.0m
37mメイン+8.4mジブ
作業半径：14m
定格総荷重：3.3t(フック含む)



参考図

[illegible]

条件明示 ※ 印の付いたものは、別に定める機械設備工事特記仕様の記載に従うこと。		MEP Design Services for the Environment  株式会社環境設備計画 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル2階 TEL:043-204-8911 FAX:043-204-8912		工 事 名 東葛テクノプラザ空調熱源設備改修工事	製 図 日 2026. 4. 1	
				図 名 電気設備工事特記仕様書 (1) R7.12		

●
一
般
事
項

※ 中 間 検 査

○中間検査を実施する。
(回数 回、実施時期)
中間検査の範囲 ()

※ 中間検査の対象工事

本工事が、低入札価格調度制度調査対象工事(以下「調査対象工事」という。)(に該当した場合は、千葉県建設工事検査要綱(検査の区分を規定)及び中間検査実施細則(中間検査実施区分を規定)の定めに関わらず中間検査の指定対象工事として、中間検査を実施する。
1)調査対象工事の中間検査の実施は、「中間検査実施細則」に関わらず原則として2ヶ月に1回、隔月ごと、及び主要工種を考慮し施工上の変化点等で行うが、実施時期は監督職員が指定する。なお、検査日及び検査監氏名は別途通知する。
2)中間検査は、通知日まで完了した出来形部分の出来形確認及び技術の確認等を行うが、給付の対象としない。

※ 条 件 明 示 項 目

○ 施工可能期間
月 日～ 月 日 (期間中も行事等により、短期の施工不能日あり)
○ 改修工事の部分使用
月 日までに下記部分について、部分使用するので協力すること。()

※ 施 設 点 検

本工事完成(「工事項目の引渡し」を行った日)後、1年目及び2年目に施設点検(不具合の有無を確認し、その処理について協議)を行うので、施設改修課から依頼があり次第、施設点検に立ち会い協力するものとする。

● そ の 他

本工事に含まれる建築工事、機械設備工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書(令和7年版)に準拠して行う。
情報システム課が設置した機器(アクセスポイント、サーバーラック等)がある場合は、取扱いを監督職員と協議すること。

※ デジタル工事写真の小黒板情報電子化

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場職員の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。
本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以降、「対象工事」と称する)とすることができる。対象工事では、以下の1)から4)の全てを実施することとする。
1)対象機器の導入
受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以降「使用機器」と称する)については、當該工事写真撮影要領2.(3)に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」
URL https://www.cryptrec.go.jp/list.html に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に本工事での使用機器について提示するものとする。
なお、使用機器の事例として、
URL http://www.cals.jacic.or.jp/GIM/sharing/index.html 記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。
2)デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入
受注者は、1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、當該工事撮影要領2.(3)撮影方法)による。
ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工程については、使用機器の利用を限定するものではない。
3)小黒板情報の電子的記入の取扱い
本工事の工事写真の取扱いは、當該工事写真撮影要領に準ずるが、2)に示す小黒板情報の電子的記入については、同要領4. で規定されている写真編集には該当しない。
4)小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品
受注者は、2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。
なお納品時に、受注者は
URL(http://www.cals.jacic.or.jp/GIM/sharing/index.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ「工事打合せ簿」等に提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

●
共
通
事
項

○ 金 属 製 出 入 管 路
(垂れメッキ面)の塗装

○ 厚 鋼 電 線 管 及 び 同 附 属 品

○ フローアブリート
フローアカバー

○ フラッシュプレート
○ 呼び線
○ 保温・結露防止

○ 合成樹脂製とかう電線管

○ 屋外バルボックス

● は つ り

● 既存躯体への穿孔

○ 再 使 用 機 器

○ 耐 震 措 置

●
共
通
事
項

○ 電 気 方 式

○ 主 進 断 機

○ 設 備 容 量

○ 直 流 コ ン デ ン サ

○ 配 電 盤

○ 絶 縁 ゴ ム マ ッ ト

○ そ の 他

○ 電 気 方 式

○ ハ イ テ ン シ ョ ン
ア ウ ト レ ッ ト

○ 非 常 照 明 器 具

○ 配 線 番 具

○ 非 常 用 の 照 明 装 置
の 照 度 測 定 箇 所

●
電 気 方 式

○ 機 器 へ の 接 続

○ 電 気 方 式

○ 電 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中 間 階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地 階 ・ 1 階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類に燃料小出槽を含む。

重要機器は次のものを示す。
○ 配電盤 ○ 発電装置(防災用) ○ 直流電源装置
○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災報知受信機
○ 中央監視装置 ○

2)設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

改修する回路の絶縁抵抗は、比較のため工事の前で測定すること。

事前調査 ● 本工事 ○ 別途
調査項目 ● 既存資料調査 ○
調査範囲 ○ 図示 ○
調査方法 ○ 図示 ○

● はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

○ 電 気 方 式

○ 主 進 断 機

○ 設 備 容 量

○ 直 流 コ ン デ ン サ

○ 配 電 盤

○ 絶 縁 ゴ ム マ ッ ト

○ そ の 他

○ 電 気 方 式

○ ハ イ テ ン シ ョ ン
ア ウ ト レ ッ ト

○ 非 常 照 明 器 具

○ 配 線 番 具

○ 非 常 用 の 照 明 装 置
の 照 度 測 定 箇 所

●
電 気 方 式

○ 機 器 へ の 接 続

○ 電 気 方 式

○ 電 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

○ 中 間 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ 装 柱 機 材

○ 外 灯 接 地

○ 区 分 開 閉 器 等

○ そ の 他

○ 配 線 方 式

○ 中 地 線 路 の 余 長

○ 地 中 管 の 材 質

○ そ の 他

○ 上 ガ ス 対 策

○ な し

○ あ り (下記による)

○ 自然換気口

○ ガス抜き管

○ 強制換気装置

○ ガス検知器

○ その他()

○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

○ 高 圧

○ 低 圧

条件明示
※ 印の付いたものは、別に定める機械設備工事特記仕様書の記載に従うこと。

●別表1

●接

地極

●機器取付高

接地極の材料は原則として下記による。
なお、接地棒E B(14φ)の長さは1,500mm以上とする。
接地棒E B(10φ)はW=30mm、L=900mm（測定用は、L=1,000mm）、接地棒E B(14φ)は、
W=40mm、L=1,200mmとしても差し支えない。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極
○ 共同接地	E _{A,B}	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ 共同接地	E _{A,C,D}	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ A種接地	E _A	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ B種接地	E _B	150/1Ω以下※	E B(14φ)×3連-1組
○ C種接地	E _C	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ D種接地	E _D	100Ω以下	E B(10φ)×1（L=1,000mm）
○ D種接地	E _{D(ELB)}	100Ω以下	E B(10φ)×1（L=1,000mm）
○ 高圧避雷専用	E _{R&A}	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ 交換装置用	E _T	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ 通信用(10Ω)	E _N	10Ω以下	E B(14φ)×3連-2組
○ 通信用(100Ω)	E _H	100Ω以下	E B(10φ)×1（L=1,000mm）
○ 電話引込口の保安器用	E _{Lt}	10Ω以下	E B(10φ)×1（L=1,000mm）
○ 測定用	E _G		E B(10φ)×1（L=1,000mm） 又は（L=900mm、W=30mm）

※ 接地抵抗値は、電気事業者と協議のうえ決定すること。

図面に記載のなき場合、機器の取付高さは原則として下記による。

名 称	測 点	取付高(mm)
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃 （諸槽）	〃	2,500
〃 （鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
〃 （バリアフリースイ）	〃	1,100
コネクタ、電話用70Vレット、 テレビ端子（一般）	〃	300
〃 （和室）	〃	150
〃 （台所）	台上～中心	150
コンセント（車庫）	床上～中心	800～1,300
コンセント（車椅子用）	床上～中心	900
取引計器	地上～窓中心	1,800～2,000
引込開閉器箱（低圧）	地上～中心	1,800～2,200
分電盤、OA盤、制御盤、実験盤	床上～中心	1,500
開閉器箱	〃	1,500（上端1,900以下）
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床上～中心	500
雷保護用接地端子箱	床上～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス（壁掛形）	地上～給油口	1,000
端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
壁付電話機	床上～中心	1,300
観時計	〃	1,500
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アツチネータ	〃	1,300
出退表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,300
外部受付用インターホン子機	〃	標準図による
呼出ボタン(バリアフリースイ)	〃	900、（400）
復帰ボタン(バリアフリースイ)	〃	1,300
廊下表示灯(バリアフリースイ)	〃	2,000
テレビ機器収容箱（E P S）	〃	1,800
入退室管理装置（カードリーダー、 暗証番号入力装置、 バイオメトリクス照合装置）	〃	1,300
火報受信機（複合盤）、副受信機	床上～操作部	800～1,500
機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯	〃	（天井高）×0.8
連動制御器	〃	1,500
自動閉鎖装置（防火戸用）	床上～中心	1,500
ガス漏れ検知器（液化石油ガス）	〃	300
〃 （都市ガス）	天井面～中心	（天井面）－200（壁面取付の場合）

（備考）（天井高）×0.9及び（天井高）×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。
注）天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、
監督職員と協議する。
呼出ボタン(バリアフリースイ)の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さ
を示す。

●別表1(他)

○工事区分表

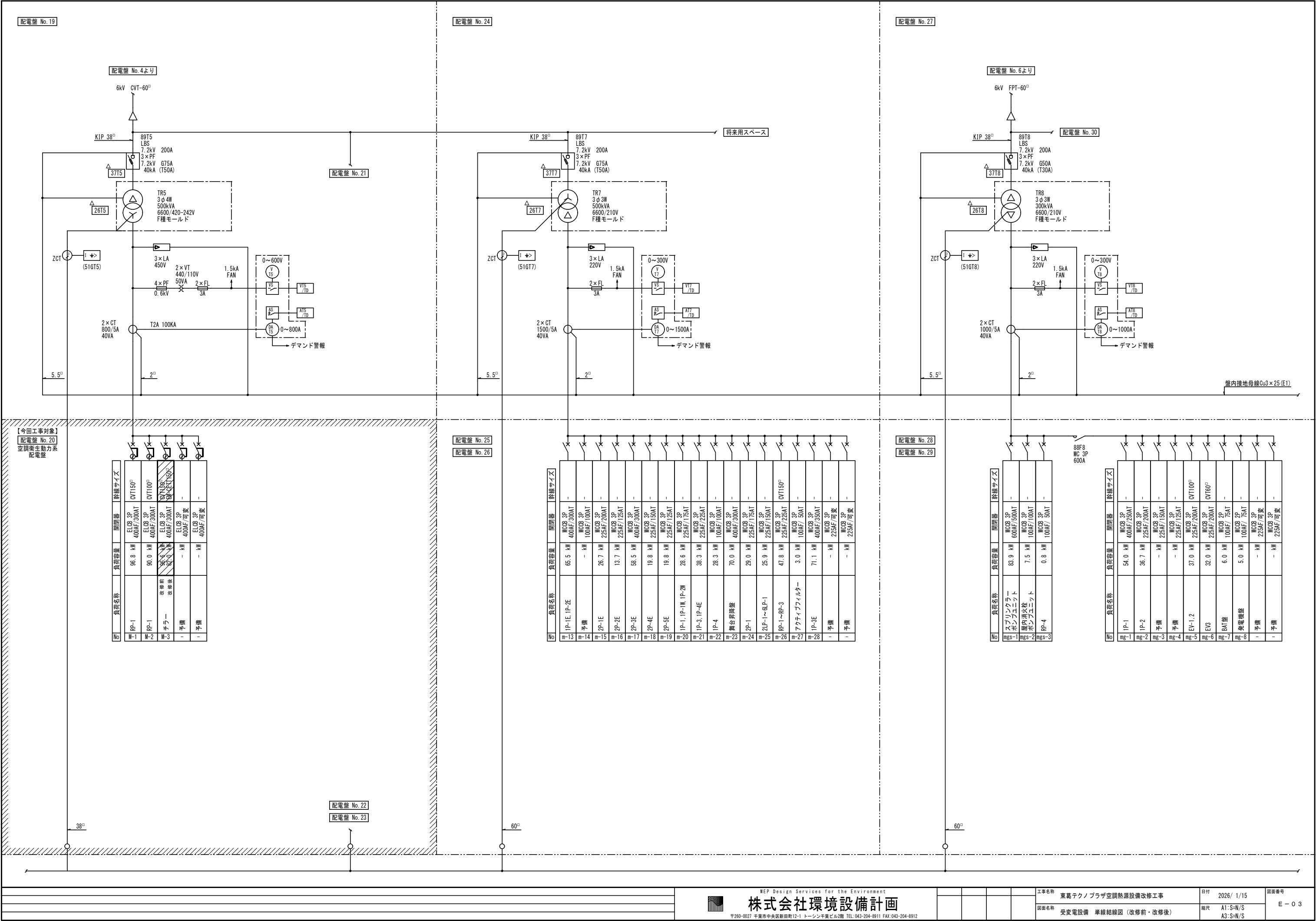
●施工図等の取扱

図面に記載のなき場合、各工事との取り合いは原則として下記による。

	工事内容	施工区分		
		建築	電気機械	
開口部	はり、床、壁貫通部	鉄筋補強 スリーブ、型枠	● ○ ○	
	埋込形(分電盤、端子盤、プルボックス)	鉄筋補強	○ ● ●	
	風道、埋込形消火栓ボックス、吹出口、吸込口 換気扇、大便器等	スリーブ、型枠	○ ● ●	
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切り込み	補強とも 補強のない場合	● ○ ○	
	スリーブ穴埋め、型枠穴埋め 鉄骨、PC板等への穴開け、補強、スリーブ入れ(工場加工)	● ● ●	● ○ ○	
基礎	屋 内	配電盤、制御盤、発電機、キュービクル受水槽、サービスタンク	躯体と一体のもの 上記以外	○ ● / ● ●
	屋 外	配電盤、制御盤、キュービクル受水槽、消化水槽	鉄筋基礎 無筋基礎	○ ● ●
	屋 上	テレビアンテナ、避雷針 高業水槽、クーリングタワー、消火栓補給水槽	躯体と一体のもの 上記以外	● ○ ● ●
	架台、アンカーボルト		○ ● ●	
点検口	床、天井、壁		○ ● ○	
	配線ビット、トレンチビット		● ○ ○	
配管記録	機器付属の制御盤(接地共)	一次側 二次側	○ ● ●	
	制御盤と動力盤の間(接地共)	電源供給 操作 配管 回路 配線()	○ ● ●	
	天井吊り型FOU及び全熱交換機換気(接地共)	電源供給 操作 配管 回路 配線()	○ ● ●	
	煙感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配線		○ ● ●	
	防油堤		● ○ ○	
その他	インサート、吊りボルト		○ ● ●	
	換気扇枠		○ ○ ○	
	外部取り付けギャラリー (ダクト、チャンバー接続フランジを含む)		● ○ ○	

施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

 MEP Design Services for the Environment 株式会社環境設備計画 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル2階 TEL:043-204-8911 FAX:043-204-8912	工 事 名	東葛テクノプラザ空調熱源設備改修工事	製 図 年 月 日	2026. 4. 1	 千 葉 県
	図 名	電気設備工事特記仕様書 (2) R7. 12			



配電盤 No. 27

配電盤 No. 6より

6kV FPT-60[□]

KIP 38[□]

89T8
LBS
7.2kV 200A
3×PF
7.2kV 650A
40kA (T30A)

37T8

26T8

TR8
3φ3W
300kVA
6600/210V
F種モールド

ZCT (51GT8)

2×CT 1000/5A 40VA

3×LA 220V

2×FL 3A

1.5kA FAN

0~300V
VS
T8

VIT /TD

AS
T8

0~1000A
TA
T8

デマンド警報

5.5[□]

2[□]

配電盤 No. 30

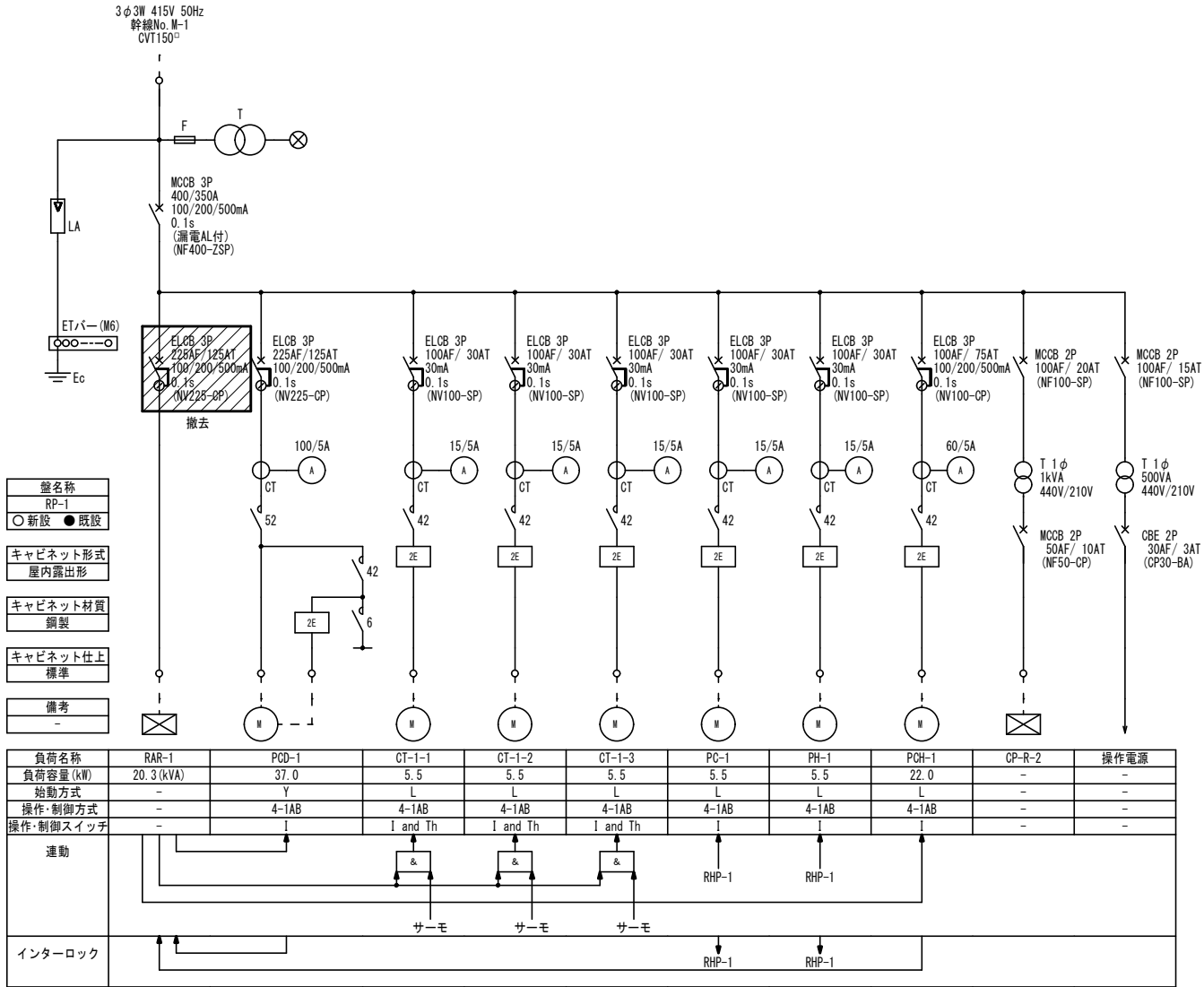
配電盤 No. 28

配電盤 No. 29

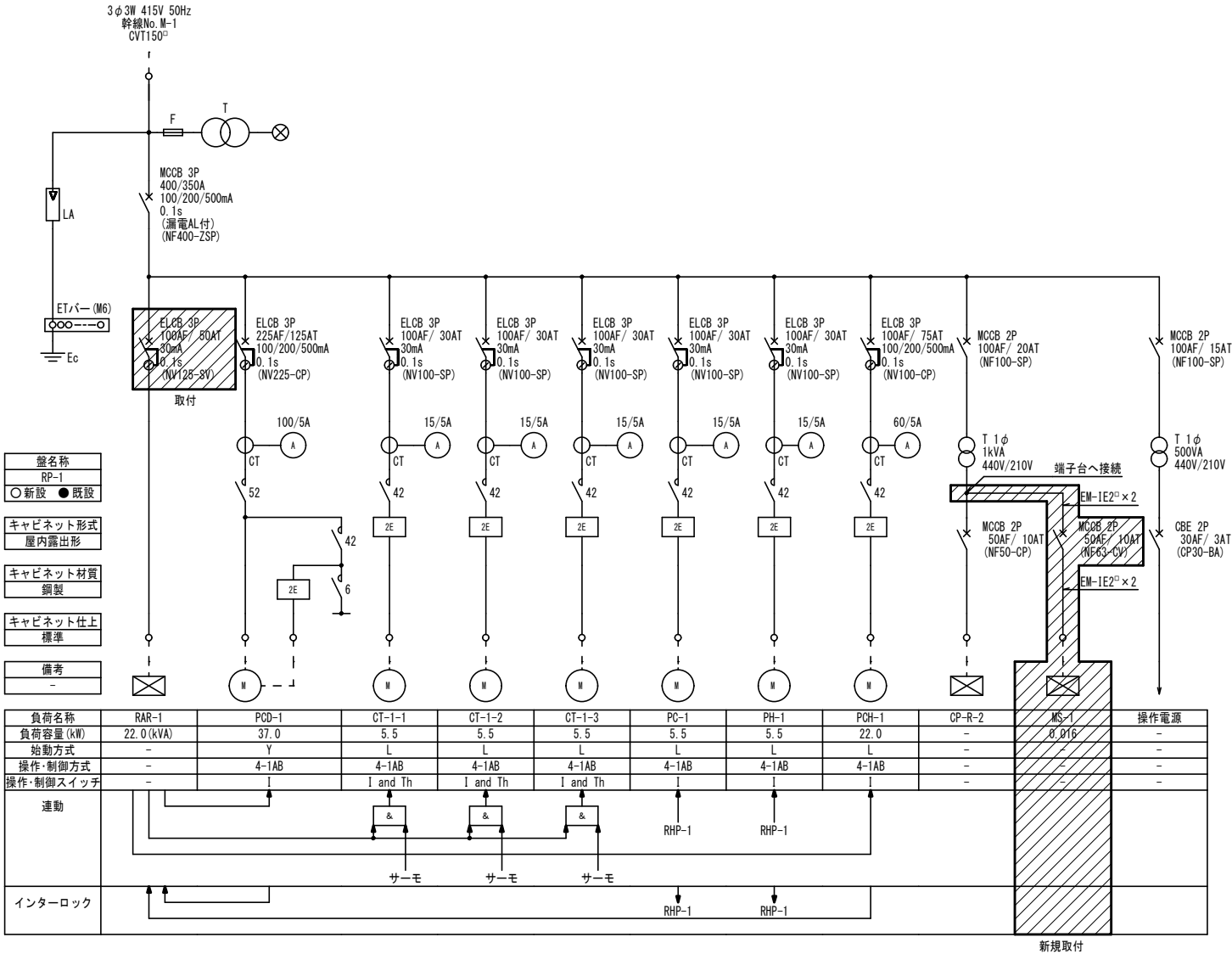
No	負荷名称	負荷容量	開閉器	幹線サイズ
mgs-1	スプリンクラー	83.9 kW	MCB 3P 600AF/500AT	-
mgs-2	ポンプユニット	7.5 kW	MCB 3P 100AF/100AT	-
mgs-3	ポンプユニット	0.8 kW	MCB 3P 100AF/50AT	-
mgs-4	RP-4	- kW	MCB 3P 225AF/可変	-
mgs-5	EV-1, 2	37.0 kW	MCB 3P 225AF/200AT	CVT100 [□]
mgs-6	EV3	32.0 kW	MCB 3P 225AF/200AT	CVT60 [□]
mgs-7	BAT盤	6.0 kW	MCB 2P 100AF/75AT	-
mgs-8	発電機盤	5.0 kW	MCB 3P 100AF/75AT	-
-	予備	- kW	MCB 3P 225AF/可変	-
-	予備	- kW	MCB 3P 225AF/可変	-

60[□]

88F8
MC 3P
600A



改修範囲



改修範囲



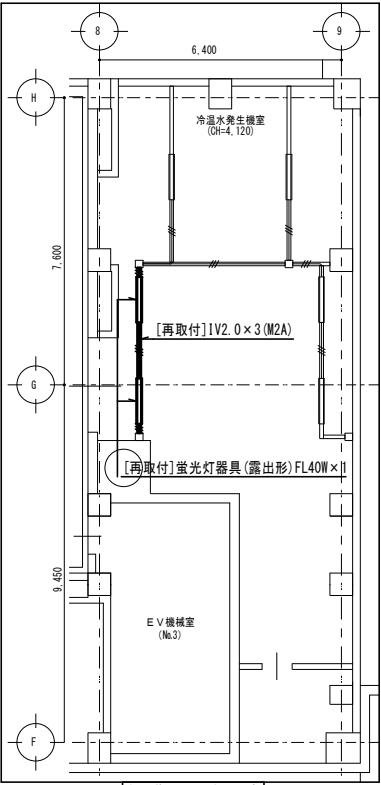
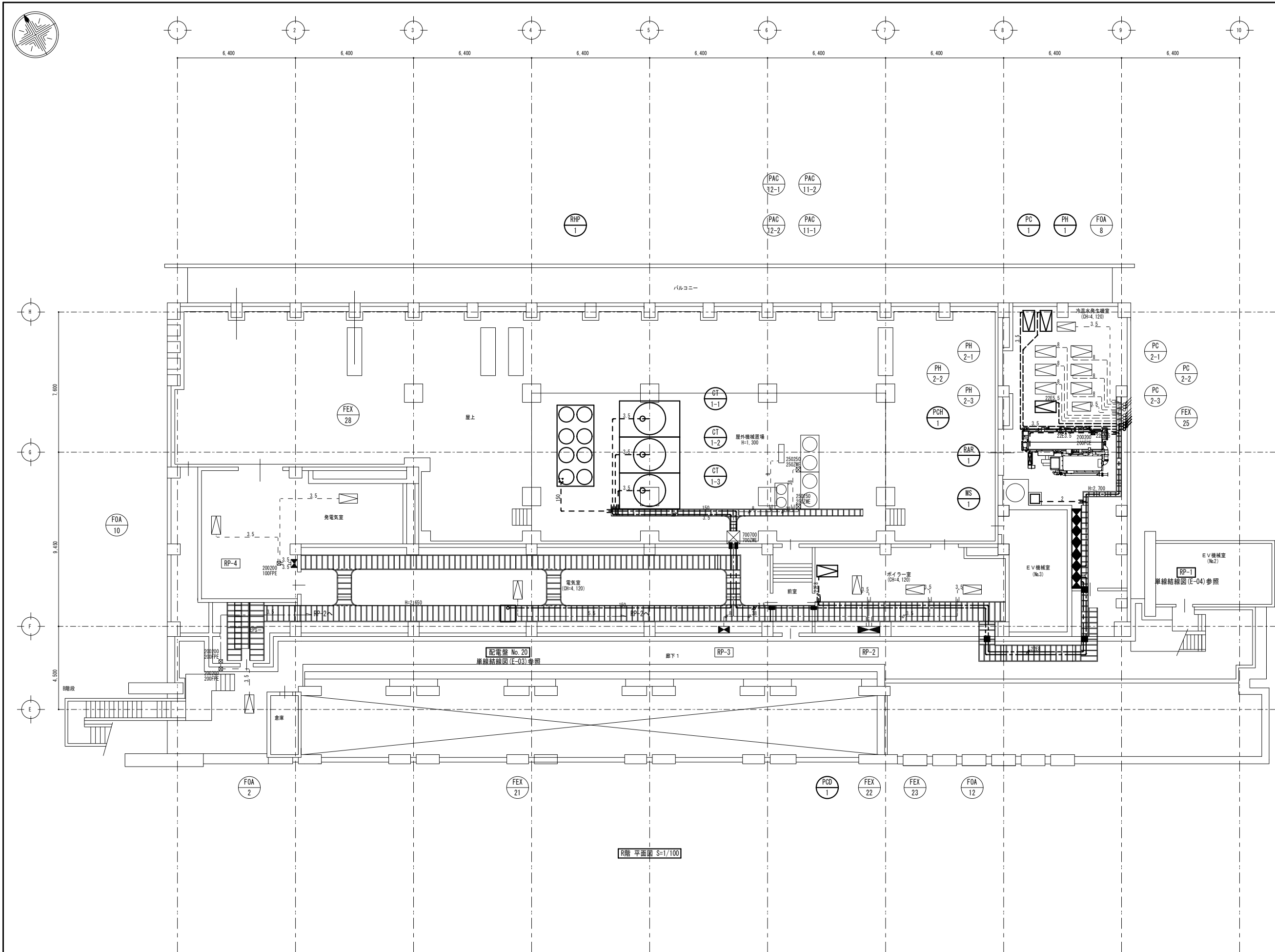
MEP Design Services for the Environment
株式会社環境設備計画

〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル2階 TEL: 043-204-8911 FAX: 043-204-8912

工事名称 東葛テクノプラザ空調熱源設備改修工事
図面名称 動力制御盤 単線結線図 (改修前・改修後)

日付 2026/ 1/15
縮尺 A1: S=N/S
A3: S=N/S

図面番号 E-04



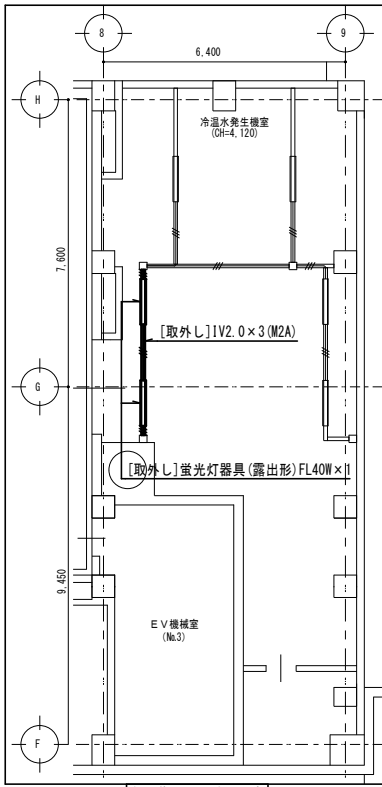
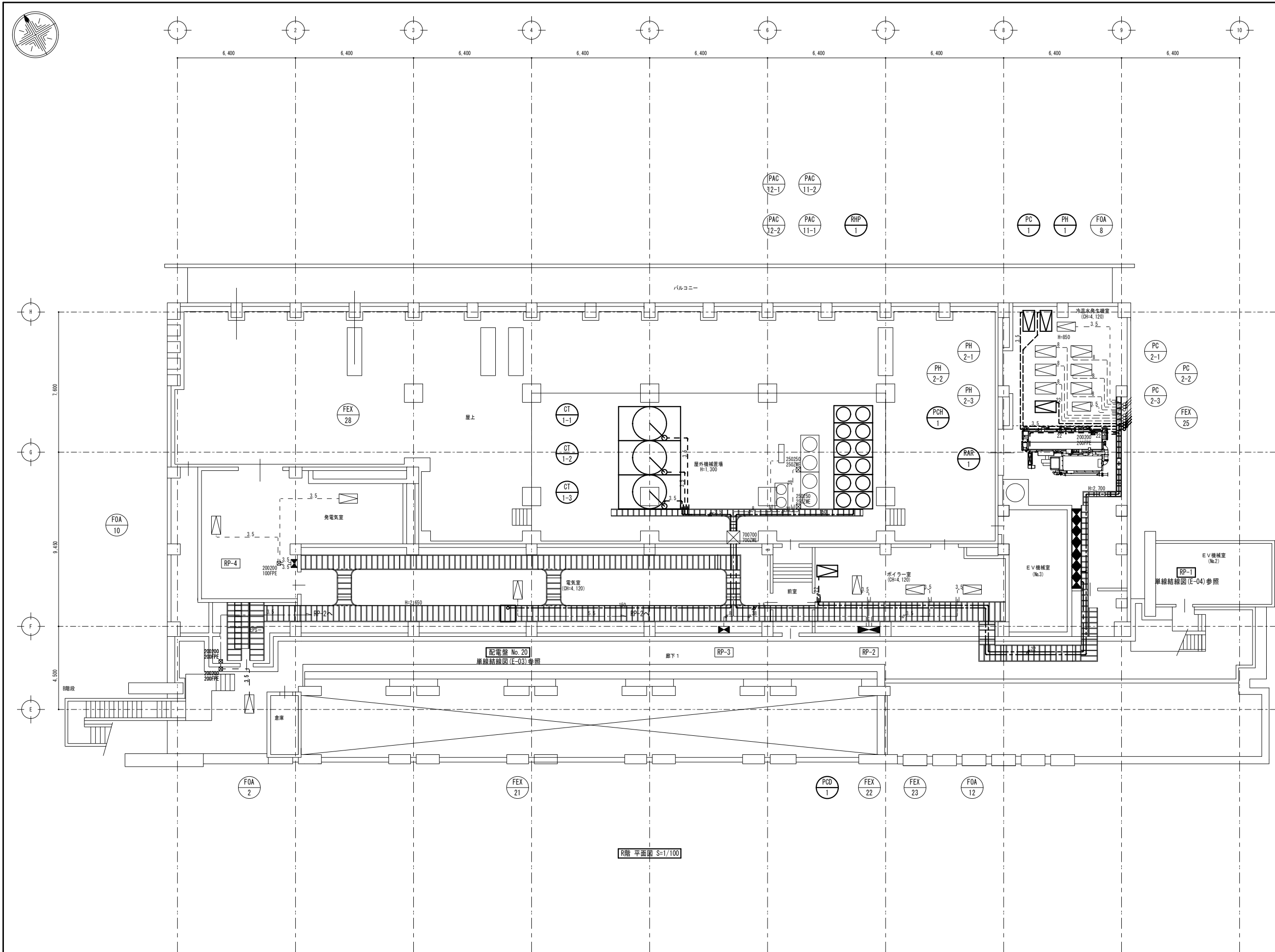
線幅は下記とする		
	太線	細線
	太線	太線

敷設方法は下記とする		
	天井隠蔽	露出
	床隠蔽	露出
	床隠蔽	露出

特記なき配線は下記とする	
屋外露出: 厚銅電線管 (G)	屋内露出: ねじなし電線管 (E)
EM-CE2 ² -3C (E25)	
EM-CE3.5 ² -3C (E25)	
EM-CE3.5 ² -3C × 3 (E25 × 3) (RAC)	
EM-CE3.5 ² -3C × 3 (E25 × 3) (RAC)	
EM-CE3.5 ² -3C (E25-R)	
EM-CE3.5 ² -3C (E25) (E25-R)	
EM-CE22 ² × 3 (E51)	
EM-CE22 ² × 3 (E51-R)	
EM-CE22 ² × 2 (E8 ²) (RAC)	
EM-CE22 ² × 2 (E8 ²) (E75)	
EM-CE150 ² (E22 ²) (RAC)	
EM-CE150 ² (E22 ²) (G92)	

特記なき記号は下記とする	
	F=鋼板製
	S=SUS製
	V=硬質ビニル製
	C=錆止め塗装
	P=指定色塗装
	Z=溶融亜鉛めっき
	W=防水
	E=接地端子付
	区画貫通部 (国土交通大臣認定工法)

- ・太線の配線及び記号は新設を示す。
- ・細線の配線及び記号は既設を示す。
- ・既設の配線及び記号は撤去図を参照のこと。
- ・「-R」は既設配管再利用箇所を示す。



線幅は下記とする		
極細線	細線	
太線	極太線	

敷設方法は下記とする		
天井隠蔽	露出	
床隠蔽	地中埋設	

特記なき配線は下記とする	
屋外露出:厚鋼電線管 (G)	屋内露出:ねじなし電線管 (E)
CV3. 5 ^φ -4C (RAC)	CV3. 5 ^φ -4C × 2 (RAC)
CV3. 5 ^φ -4C × 3 (RAC)	CV3. 5 ^φ -4C (E25)
CV3. 5 ^φ -4C (E25) (G28)	CV8 ^φ -4C (RAC)
CV8 ^φ -3C × 2, E5. 5 ^φ × 2 (RAC)	CV8 ^φ -4C (E39)
CV8 ^φ -3C, E5. 5 ^φ (E39) (G36)	CVT22 ^φ , E8 ^φ (RAC)
CVT22 ^φ × 2, E8 ^φ (RAC)	CVT22 ^φ , E8 ^φ (E51)
CVT22 ^φ , E8 ^φ (E51)	CVT22 ^φ , E8 ^φ (E75)
CVT38 ^φ , E5. 5 ^φ (RAC)	CVT38 ^φ × 2, E5. 5 ^φ × 2 (RAC)
CVT38 ^φ , E5. 5 ^φ (G54)	CVT150 ^φ , E38 ^φ (RAC)

特記なき記号は下記とする	
ブルボックス [W][L][D]:寸法 [*]:材質等 F=銅板製 S=SUS製 V=硬質ビニル製 O=錆止め塗装 P=指定色塗装 Z=溶融亜鉛めっき W=防水 E=接地端子付	

・太線の配線及び記号は撤去を示す。
・極細線の配線及び記号は既設を示す。
・隠蔽部の配管は残置とし配線のみ撤去する。